



令和3年度事業報告書

令和4年5月15日

浜松科学館指定管理者
乃村工藝社・SBS プロモーション共同事業体

目次

I 指定管理施設の概要	
1. 施設概要	1
2. 指定管理者事業	1
(1) 指定管理者	1
(2) 指定管理期間	1
(3) 組織	1
(4) 浜松科学館運営委員会	2
(5) 共同事業体による運営支援体制	2
II 施設の利用状況	4
1. 年間実績	4
2. 施設利用者状況	4
(1) 利用者数実績	4
(2) 入場者数実績	4
3. 利用者目標と達成状況	5
4. 利用料金と収入状況	5
(1) 科学館利用料金	5
(2) 利用料金収入実績	6
(3) その他の利用料金	6
5. COVID-19 対策	7
(1) 制限について	7
(2) 館内の消毒・除菌清掃	8
(3) 広報・掲示物	8
III 科学館事業	10
1. 展示運営	10
2. 企画展・特別イベント	11
3. 展示体験プログラム・支援ツール	13
(1) 展示ストーリーブック	13
(2) 学習活用ワークシート	13
(3) 科学学習情報システム	13
4. 参加型学習	14
5. プラネタリウム	16
(1) 投映スケジュール	16
(2) 投映番組	16
(3) プラネタリウムの利用促進	19
(4) 機器更新の概要	20
6. アテンダント	21
7. 連携協力事業	22
(1) 学校等との連携	22

(2) 教育関係機関等との連携	27
(3) その他(研究機関や科学館との連携事業等)	29
8. ボランティア活動支援	31
9. 調査・研究および収集・保存	33
10. パブリックリレーションズ	34
11. 視察・調査	36
IV 維持管理業務	37
1. 科学館の維持保全業務	37
2. 特殊機材・展示物等保守管理業務	38
3. 什器・備品等保守管理業務	38
4. 清掃・警備・防災関係業務	39
(1) 清掃業務	39
(2) 警備業務	39
(3) 防災関係業務	39
(4) 安全管理	40
5. 修繕工事に関する業務	41
6. 事故・苦情等の対応状況	41
V 施設貸出	42
(1) 業務概要	42
(2) 貸室料金等	42
(3) 貸出実績	42
VI 収支報告	43
1. 収入	43
2. 支出	43
VII 自主事業	44
1. 必須の自主事業	44
(1) ミュージアムショップ	44
(2) カフェ	45
(3) 自動販売機	46
2. 任意の自主事業	46
3. 自主事業の収支	47
VIII 資料	48
1. 2021年度科学館入館観覧者状況	49
2. 2021年度イベント・講座実施状況	50
3. 利用者アンケート集計結果	55
4. 浜松科学館と大学・企業等との事業連携アンケート調査(評価)結果	62
5. メディア取材等一覧表	65
IX 指定管理者による自己評価	67

I 指定管理施設の概要

1. 施設概要

施設名称	浜松科学館（愛称 みらいーら）
施設住所	静岡県浜松市中区北寺島町 256 番地の 3
敷地面積	9,911.47 m ² （サイエンスパーク 3,020 m ² 、自然観察園 1,742 m ² ）
建築面積	3,373.95 m ²
延床面積	6,891.95 m ²
建築構造	鉄骨鉄筋コンクリート造 4 階建
竣工	昭和 61 年（1986 年）4 月
展示更新	令和元年（2019 年）7 月 1 日

2. 指定管理者事業

(1) 指定管理者 乃村工藝社・SBS プロモーション共同事業体

指定管理者 1（代表企業）

所在地	東京都港区台場二丁目 3 番 4 号
名称	株式会社乃村工藝社
代表者	代表取締役 社長執行役員 榎本 修次

指定管理者 2（構成員）

所在地	静岡県静岡市駿河区森下町 1 番 35 号
名称	株式会社 SBS プロモーション
代表者	代表取締役社長 永田 龍彦

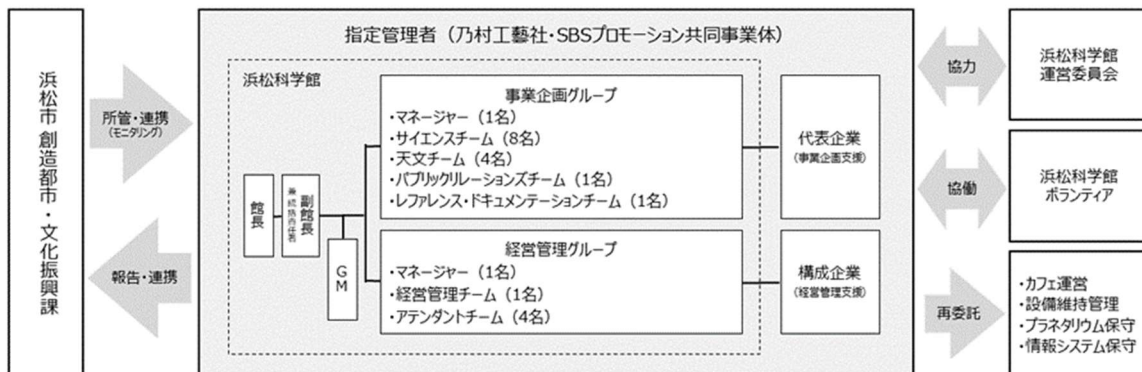
(2) 指定管理期間 2019 年 7 月 1 日～2029 年 3 月 31 日

(3) 組織

名誉館長 天野 浩・名古屋大学教授

館長 小田木 基行

（以下、常勤職員 24 人。下図は 2022 年 3 月 31 日現在）



(4) 浜松科学館運営委員会

科学館事業への助言および協力、評価等を目的に、学識経験者等で構成する浜松科学館運営委員会を開催しました。

名称	日時及び場所	内容
浜松科学館運営委員会	7月8日(木) 10:00~13:00 浜松科学館セミナールーム	令和2年度事業報告 指定管理者事業評価結果 令和3年度事業計画及び第一四半期実績 各チームリーダーの活動実績発表 意見交換 等

委員名簿 (順不同、敬称略)

氏名	所属	専門 (役員)
上野 征洋	静岡文化芸術大学 名誉教授	メディア論 (委員長)
湯口 哲世	浜松商工会議所 理事 (総務企画部長)	産業界 (副委員長)
遊橋 裕泰	静岡大学情報学部 教授 (行動情報学科長)	ICT 研究
村井 良子	(有)プランニング・ラボ代表 (ミュージアム・プランナー)	博物館経営
中村 公彦	浜松市役所 市民部 文化振興担当部長	行政

(5) 共同事業体による運営支援体制

浜松科学館指定管理者である共同事業体構成員は、連帯して指定管理業務に責任を負うとともに、必要な経営資源 (人材・業務インフラ・資金・情報) を供給します。また、各社の得意分野や専門性を活かして運営をバックアップします。さらに、共同事業体の各企業が管理運営する類似施設や静岡県内の文化施設との人的交流や事業面の連携を図る環境をつくることで、運営ノウハウの共有や、スタッフ個々人の専門能力の向上を図っています。

共同事業体の代表企業である乃村工藝社は国内の主要科学館における展示の設計・製作及び施設の管理・運営実績を数多く有しており、蓄積された民間ノウハウと全国的なネットワークを活用することで浜松科学館の運営を支援します。また SBS プロモーションは自社メディアを活用した効果的な広報・プロモーション活動とともに、地域人材や企業、大学との幅広いネットワークにより、オール浜松での魅力的な科学館づくりに寄与しています。

名称	日時及び場所	内容
乃村工藝社 P P P 事業部 テーマ交流会	2月7日(月) 10:00~12:00 Zoom によるリモート開催	「ソーシャルグッド」をテーマに計 12 の活動拠点の取り組みについて情報交換し、浜松科学館からは自然観察園を起点とした活動を紹介しました。

名称	日時及び場所	内容
SBS プロモーション管轄 指定管理施設運営責任者 等研修会	6月24日(木) 14:30~16:30 遠鉄新館 13 階会議室	SBS プロモーション浜松支社管轄の指定管理施設(5 施設)の代表者等を対象に、ハラスメント研修が行われました。
佐賀県立宇宙科学館による 企画展支援	2021年3月20日(土) ~5月9日(日)	春の企画展「ビーコロ展 in 浜松」の開催にあたり、乃村工藝社が管理運営する佐賀県立宇宙科学館から、展示装置 6 台を借り受けました。
新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 感染防止 対策	① 補助事業の実施期間 4月1日(木) ~ 1月31日(月) ② 通年	① 令和2年度文化芸術振興費補助金(文化施設の感染拡大予防・活動支援環境整備事業)により、消毒用アルコール液、サーマルカメラ、飛沫防止パーテーション等感染防止用品や消毒清掃作業委託費等、環境整備事業費を調達しました。 ② 感染症の拡大に対応して、共同事業体両社よりマスク、抗原検査キット等の支給がありました。

※本報告書では、世界保健機関 (WHO) の決定に基づき、新型コロナウイルス感染症の正式名称を「COVID-19」と表記します。

II 施設の利用状況

1. 年間実績 (2021年4月1日～2022年3月31日)

開館日数	312日
休館日数	53日 (うち9日は保守点検等のための休館)
開館時間	9:30～17:00
	・夏季開館時間延長 9:30～18:00 (7月20日～8月31日)
	・その他イベント等で適宜、開館時間を延長
	・施設貸出 9:30～21:30

2. 施設利用者状況

(1) 利用者数実績

利用者数総数		128,183人
常設展示入場者・プラネタリウム観覧者数		116,646人 91.0%
講座・イベント参加者数		9,779人 7.6%
施設貸出 (ホール・セミナールーム) 利用者数		1,758人 1.4%

(2) 入場者数実績

上段は人数。下段は構成比

常設展示入場者数：116,646人			
年齢別	大人	中人	小人
	54,610人 46.8%	2,300人 2.0%	59,736人 51.2%
種別	個人		団体
	103,684人 88.9%		12,962人 11.1%
学校等団体等利用状況：12,950人			
幼稚園・保育園	小学校	中学校	その他
57園 3,125人 24.1%	129校 7,772人 60.0%	16校 1,050人 8.1%	36団体 1,003人 7.7%

3. 利用者目標と達成状況

2021年度は当初から新型コロナウイルス感染症の影響を考慮して、常設展入場者数を当初目標（18万人）の3割減（13万人）としました。その後、プラネタリウム機器更新事業が実施されることになり、下半期（10月～3月）のプラネタリウム事業が休止となったため、さらに50%程の利用者減（観覧率から推計）が想定されましたが、第6波の影響が大きかった1月～2月期を除くと、下半期は目標を上回る集客となりました。要因としては、サイエンスショーやミニワーク等の体験型プログラムが定着し、プラネタリウムや大型映像を観覧できなくても一定程度の利用者を引き付けられるポテンシャルの向上が挙げられます。さらにプラネタリウムをテーマとした冬の企画展を実施して、プラネタリウム更新機器の魅力と体験学習を補完する試みに取り組みました。

月	常設展入場者数（人）				プラネ・大型映像観覧者数（人）			
	目標	構成比	実績	達成率	目標	構成比	実績	達成率
4月	7,000	6.9%	10,538	150.5%	3,400	6.7%	4,254	125.1%
5月	9,000	7.3%	9,835	109.3%	4,300	6.7%	4,001	93.0%
6月	9,000	6.0%	7,404	82.3%	4,300	4.4%	3,693	85.9%
7月	14,000	9.9%	14,455	103.3%	6,700	8.9%	7,346	109.6%
8月	37,000	19.8%	18,175	49.1%	17,800	17.8%	9,124	51.3%
9月	9,000	6.9%	6,787	75.4%	4,300	6.7%	3,029	70.4%
10月	8,000	6.9%	8,246	103.1%	0	4.4%	0	0.0%
11月	8,000	6.0%	9,717	121.5%	0	4.4%	0	0.0%
12月	6,000	6.9%	8,019	133.7%	0	8.9%	0	0.0%
1月	6,000	7.8%	5,372	89.5%	0	8.9%	0	0.0%
2月	7,000	6.9%	4,394	62.8%	0	8.9%	0	0.0%
3月	10,000	8.6%	13,704	137.0%	4,800	13.3%	8,071	168.1%
合計	130,000	100.0%	116,646	89.7%	45,600	100.0%	39,518	86.7%

4. 利用料金と収入状況

(1) 科学館利用料金

浜松科学館条例（昭和61年条例第30号）に基づき、利用料金を以下の通りに設定しています。利用料金制度（地方自治法第244条の2第8項・第9項）によって、利用料金は指定管理者の収入として収受し、管理運営業務経費等に充当されています。

区分	常設展入場料			常設展入場料+プラネタリウム1回分観覧料 (大型映像1回分観覧料)			
	大人	中人 (高校生)	小人 (中学生以下)	大人	中人 (高校生)	小人 (中学生以下)	
通常料金	600円	300円	無料	1,100円	550円	無料	
団体 料金	浜松市 湖西市	420円	210円	無料	770円	380円	無料
	その他地域	540円	270円	無料	990円	490円	無料

※70歳以上の方は入場料および観覧料が無料となります。

(2) 利用料金収入実績（科学館入場料、プラネタリウム観覧料）

※後納分の共済組合助成券、わーくんクーポン券の利用料金は本表に含みません。（別表参照）

区分		利用料金
個人	常設展	18,488,400円
	常設展+プラネタリウム・大型映像	16,448,300円
	観覧券	347,250円
	割引	-138,320円
	A 個人総合	35,145,630円
団体	常設展	257,460円
	常設展+プラネタリウム・大型映像	33,660円
	B 個人総合	291,120円
個人・団体合計 (A+B)		35,436,750円

(別表)

区分	利用人数	利用料金
共済組合助成券（後納分）	1,327人	890,900円
わーくんクーポン券（後納分）	260人	78,000円
合計	1,587人	968,900円

(3) その他の利用料金

①年間パスポート

科学への興味関心を深め、コアな利用者を育成するため、繰返し利用（リピート利用）を促す年間パスポートを発行しました。プラネタリウムリニューアル工事による投映中止に伴い、2021年4月1日より年間パスポートの販売を中止していましたが、2022年3月1日から販売を再開しました。常設展入場に適用できます。

料金区分		大人	中人（高校生）	小人（中学生以下）
		1,500円	750円	－
購入者数		187人	0人	－
利用料金収入		280,500円	0円	－
利用者数	4月～2月	2,310人	5人	－
	3月	377人	0人	

② 企画展・特別イベント

開催規模や内容に応じて設定します。2021年度は夏の企画展「身近で気になる昆虫展」、冬の企画展「プラネタリウムをより一層楽しむための企画展」、特別イベント「さがしてためしてみらいーら」、春の企画展「わたしにとっての文具展」を開催しました。企画展は大人・中人・小人ともに常設展チケットで入場可となります。

・特別イベント「さがしてためしてみらいーら」

参加費として冊子1冊につき100円を設定

参加人数	参加費
968人	96,800円

(12月25日～2022年3月31日)

計 82日間参加者延べ人数)



③ その他の料金

催しの実施に際して、材料費等の実費相当額については、利用者から受益者負担分をいただきました。

区分	利用者数	金額
ミニワークショップ等参加者数・料金	9,644人	1,760,600円
みらいーらカード発行数・料金	513人	153,900円
貸出端末利用者・料金	7人	1,400円
合計	10,164人	1,915,900円

5. COVID-19 対策

COVID-19による感染症対策については、新型インフルエンザ等対策特別措置法（平成24年法律第31号）第32条第1項の規定に基づく緊急事態宣言が2021年8月に出されました。（実施期間：8月20日～9月30日）また、2022年1月27日～3月21日まで、同法第31条の4第3項に基づくまん延防止等重点措置に関する公示を受けて、人数制限等を実施しながらウェブサイトや館内掲示で来館者に注意を呼びかけました。

(1) 制限について

COVID-19による感染拡大防止の観点から、以下の通り利用者人数に制限を設けました。加えて、機械換気設備の適切な作動、各事業プログラム参加者の人数制限、館内の消毒作業により、利用者同士の密接・密集・密閉状態を引き起こさないよう最大限留意しました。

① 入場者数・観覧者数

期間	入場者数 (有料ゾーン滞留者数)	プラネタリウム観覧者数 (1回あたり)	その他の主な制限等
8月20日～9月30日	600人	90人	カフェや食事場所（セミナールーム）、ミニワークショップ会場にパーティションを設置。また、貸館の利用人数を定員の半数以下に制限。
4月1日～2022年3月31日(上記の期間を除く)	1,300人	130人	カフェや昼食場所（セミナールーム）、ミニワークショップ会場にパーティションを設置。

② サイエンスショー・ミニワークショップ

◎サイエンスショー

1回10分に時間を短縮し、1日5回の開催としました。

1回目	2回目	3回目	4回目	5回目
11:00	12:00	13:00	14:00	15:00

密集状態を避けるため、緊急事態宣言実施期間中は定員を50人に制限し、それ以外の期間は70人としました。

◎ミニワークショップ

対面での対応、利用者同士の密接状態を避けるため、1階「出口ゲート付近」で行いました。1回あたり5組で、参加者が作り方を見ながら個々に作成する方法で開催しました。

③ 展示物等の利用

利用停止又は利用の一部停止。(4月1日～3月31日)

◎利用停止

- ・ボイスチェンジパイプ (音ゾーン)
- ・子どもエレベーター、子ども通路

◎利用の一部停止

- ・電子音楽の世界 (音ゾーン) : マイクのみ利用停止
- ・バイオメテイクス (自然ゾーン) : ヤモリグローブのみ利用停止

④ 食事・カフェ

◎カフェと食事場所 (セミナールーム) は座席数を減らし、パーテーションを設置して、利用者同士の密接状態を引き起こさないよう留意しました。また、カフェは8月29日から休業しました。

(2) 館内の消毒清掃等

消毒液、飛沫防止シート、パーテーション、非接触型体温計等の設置のほか、展示物、プラネタリウムドーム、手すり等の除菌清掃を行っています。

(3) 広報・掲示物

- A 入場制限についてのお知らせ
- B お客様へのお願い (※)
- C はままつ LINE コロナ見守りシステム
- D マスク着用手指消毒の励行等、感染症対策のお願い
- E ショップからのお願い



※B お客様へのお願い（拡大版）
 （中2階みらいーらステージのスクリーンにも投映）

安心・安全のためのエチケットにご協力ください

<p>マスク着用でのご来館をお願いいたします。</p> 	<p>お並びの際、展示エリアでは前後の間隔をあげてください。</p> 	<p>こまめな手洗・手指消毒をお願いいたします。</p> 
<p>混雑状況によって、ご入館を制限する場合がございます。</p> <p>STOP</p> 	<p>咳や発熱の症状があるお客様はご来館をお控えください。</p> 	<p>食事での会話はなるべくお控えください。</p> 

安心・安全のために浜松科学館が実施していること

<p>職員がマスクを着用いたします。</p> 	<p>こまめな手洗・手指消毒をいたします。</p> 	<p>事前申し込み制の催しは、当面のあいだ中止いたします。</p> 
<p>常時換気・消毒液での定期的な清拭をいたします。</p> 	<p>ショップのテスターや展示サンプル等、一部撤去しております。</p> 	<p>レジガードの設置、コイントレイの使用をいたします。</p> 

Ⅲ 科学館事業

1. 展示運営

常設展示アイテム 93 点と屋外展示、自然観察園が常時良好な状態で利用できるよう管理するとともに、サービス価値を高めるためのさまざまな体験プログラム、学習ツール等を用意して多角的な展示運営事業を展開しました。

フロア	点数	ゾーニング	アイテム			
1階	12点	自然ゾーン	浜松のすがた アクティブ・リサーチ・デスク デジタルスコープで見る 顕微鏡で見る でんけんラボ	いきもの色覚 センサーでとらえる世界 はままつ環境ウォール リアルタイム地震 アースモニター	コレクションウォール バイオメテックス	
2階	21点	光ゾーン	アクティブ・ライト・シューティング 光のテーブル いろいろな鏡 カラーミキサー 瞳のかんさつ	光ファイバーのしくみ 光通信のしくみ 光ではかる 光を利用する 光で動きをとらえる	目のしくみ 立体に見えるワケ 色当てチャレンジ ゾートロープ 視覚のふしぎ	かげ絵あそび 光の波長と技術 ようこそ LEDの世界へ イ号テレビ 高柳 健次郎 堀内 平八郎
2階	22点	音ゾーン	アクティブ・サウンド・ライブ 弦の動き おんさじっけん ボイスチェンジャー ドップラーテーブル 耳のしくみ	発声のしくみ どこまで聞こえる？ どう聞こえる？ 効果音をつくらう おでこで聞こう 音でしらべる	音を利用する エコチューブ 音のしぶき 音のかたち 響きの変わる部屋	ピアノアクション 電子楽器の世界 山葉 寅楠 河合 小市 梯 郁太郎
2階	20点	カゾーン	アクティブ・パワー・コースター ビジュアルビザード パスカルのイス 縦波と横波 砂鉄でお絵かき	水のテーブル 振り子の動き いろいろ発電 電磁誘導テーブル 風のテーブル	メカニカルウォール メカニカルブロック クルマの基本と応用 バイクの基本 EVサーキット	船を動かそう パワーアシストつなひき 鈴木 道雄 本田 宗一郎 川上 源一
2階 3階	10点	宇宙ゾーン	アクティブ・スペース・ミッション 星座を見つけよう スイングバイ ロケットを飛ばそう カミオカンテVR	スペースホットピック (3F) 月面AR (3F) 笹ヶ瀬隕石 (3F) H 2 Aロケット (模型・3F) 光学式プラネタリウム (3F)		
2階	3点	新技術コーナー	ローム浜松株式会社 原田精機株式会社 静岡大学工学部			
2階	5点	やらまいか テクノロジー コーナー	①無重力テーブルの展示及びアクティブ展示解説（テンセグリティ構造）（有限会社ハーモテック） 展示期間 2021年4月～5月 ②エコフォーム・プリント方法及びアクティブ展示解説（昇華プリント）（レワード株式会社） 展示期間 2021年6月～8月 ③ペン先製造技術・毛細管現象説明（テイボ-株式会社） 展示期間 2021年7月～2022年1月 ④アルミ・ホイール展示（エンケイ株式会社） 展示期間 2021年9月～2022年1月 ⑤マスク機能展示（株式会社ROKI） 展示期間 2022年2月～5月までの予定			
合計	93点					

屋内施設、屋外施設・展示については、常時、開放されている空間であるため、特に安全で快適な状況を保つよう努めるとともに、さまざまな事業を展開する場として活用しています。

区分	数量	ゾーニング	ファシリティ・アイテム			
屋内	5箇所	屋内施設	2階 キッズ・サイエンス・ランド	中2階 みらい-らステージ みらい-らテーブル	1階 ものづくりラボ サイエンスラボ	
屋外	8箇所	屋外設備・展示	サイエンスパーク パワーアスレチックハウス サウンドコレクトチェア マテリアルベンチ	芝生広場 バラボラ サイエンス農園 ニュートンのリンゴの木 醍醐寺のクローン桜	デッキ 霧のステージ	自然観察園

2. 企画展・特別イベント

COVID-19の感染対策を講じ、春の企画展、夏の企画展、冬の企画展、特別イベントを開催しました。市民が科学に親しむきっかけをつくることに努めています。

名称	開催時期	実施内容		
春の企画展 「ビーコロ展 in 浜松」 ※2021年3月20日から開催	4月1日～6日,10日,11日,17日,18日,24日,25日,29日,30日, 5月1日～5日,8日,9日 計21日間 	ビー玉を転がし、そこに隠れている力学の面白さを体験してもらうことを狙いとしました。装置は当館職員が制作した11台に加え、佐賀県立宇宙科学館から6台を借用し、展示しました。また、SUS株式会社にも1台制作していただきました。 ※リピーターを含む人数です <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>入場者数（大人・中人・小人）</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">22,359人</td> </tr> </table>	入場者数（大人・中人・小人）	22,359人
入場者数（大人・中人・小人）				
22,359人				
夏の企画展 「身近で気になる昆虫展」	7月20日～8月31日 計43日間 	約2万件のSNS情報を元に作成した「身近で気になる昆虫ベスト50種」をイラストや標本で紹介しました。50種を中心とした昆虫の生態・進化の面白さをハンズオン形式で解説しました。 <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>入場者数（大人・中人・小人）</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">15,209人</td> </tr> </table>	入場者数（大人・中人・小人）	15,209人
入場者数（大人・中人・小人）				
15,209人				
冬の企画展 「プラネタリウムをより一層楽しむための企画展」	12月24日～28日, 2022年1月3日～16日 計18日間 	2022年3月にリニューアルオープンしたプラネタリウムに興味関心をもってもらうため、プラネタリウムの歴史や機器の仕組みなどを紹介、展示しました。また、日本星景写真協会による「星の風景 2021」も同時開催しました。 <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>入場者数（大人・中人・小人）</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">1,847人</td> </tr> </table>	入場者数（大人・中人・小人）	1,847人
入場者数（大人・中人・小人）				
1,847人				

名称	開催時期	実施内容		
春の企画展 「わたしにとっての 文具展」	2022年3月19日～ 3月31日 計13日間 ※5月8日(日)まで開催 予定 	日常的に使われる文具の機能を科学的に解説したり、地元クリエイターに、使用している文具について取材した記事を展示するなど、浜松科学館ならではの視点で文具を紹介しました。また、さまざまな文具を使用できるワークショップスペースを設け、幅広い年齢層が楽しめるよう工夫しました。 <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;"> 入場者数 (大人・中人・小人) </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"> 2,319 人 </td> </tr> </table>	入場者数 (大人・中人・小人)	2,319 人
入場者数 (大人・中人・小人)				
2,319 人				
特別イベント 「さがしてためして みらいーら」	12月25日～2022年3月 31日 計82日間 ※2022年8月31日まで 開催予定 	親子で常設展をより楽しんでもらうために開催しました。問題冊子の流れに沿って5つの問題を解いていく中で、観察や実験を行うことを促す仕掛けになっています。 参加費として冊子1冊につき100円を設定。 <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;"> 参加人数 (大人・中人・小人) </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"> 968 人 </td> </tr> </table> <p>12月143人、1月258人、 2月163人、3月404人</p>	参加人数 (大人・中人・小人)	968 人
参加人数 (大人・中人・小人)				
968 人				
特別イベント みらいーらブックセレク ション展	5月1日～8月31日 計110日間 	市内の小・中学生を対象に、その人に読んでほしい1冊をスタッフが選書し贈呈しました。当選者の読後のメッセージとスタッフのメッセージを本とともにライブラリーに展示しました。 共催：浜松ロータリークラブ		

3. 展示体験プログラム・支援ツール

(1) 展示ストーリーブック

自然を起点とし、歴史・文化との相互作用を経て、力・音・光・宇宙という4つの分野でさまざまな産業が生まれてきた浜松地域のストーリーを、当館の展示に関連付けて紹介するコンテンツです。科学館ウェブサイト等で公開しています。

(2) 学習活用ワークシート

展示アイテムを利用した子供たちの主体的な学び、深い学びを促進することを目的としています。児童生徒を対象とした学習活用ワークシートを小学校の単元別に展開し、主に団体による学習利用の際に活用されています。

内容：3年生「磁石の性質」・「光の性質」、4年生「月と星」、5年生「電流の働き」・「振り子の運動」、6年生「電気の利用」・「土地のつくりと変化」

(3) 科学学習情報システム

館内での体験の質を高めるとともに、個人の体験の記録を残すことで、振り返りや発展的な学びにつなげることを目的としています。ポイントを貯める機能や、チャットボット機能を運用し、アプリあるいはICカード（みらいーらカード）を用いた体験価値の向上を図りました。獲得したポイント数に応じて、オリジナルグッズや特別体験などの特典を提供しました。

4. 参加型学習

利用者サービスの主軸が「体験」に移行している中、さまざまな体験プログラムを実施し、興味関心をさらに喚起するよう努めました。いずれも他の類似施設で行われているものより大規模な仕掛けで参加機会も多く、利用者の満足度や科学への関心を呼び起こす浜松科学館ならではの人気プログラムとなっています。

名称	実績	内容
科学学習情報システム	アプリ登録数 594 人 カード登録数 515 人 (合計) 1,109 人	昨年度よりもアプリ登録者数・カード登録者数ともに増加しています。館内の展示に関連した学びを深めるツールとして機能しており、ポイントの蓄積を楽しむ使い方をされています。アプリは公式 Web サイトと連動し、浜松科学館に関する情報を取得できるツールとしても機能しています。
アクティブ展示解説	実施回数 1日0～11回 431回 参加者数 3,084人	5ゾーンの展示アイテムを活用して、利用者とスタッフがコミュニケーションをとることができる展示解説を行いました。平日に2回、休日には4回ずつを目安に、タイムリーなノーベル賞の話題を織り交ぜたり、でんけんラボを開放したり、多くの方に体験して頂けるよう創意工夫をしながら実施しました。春の企画展の会場内でもコンパスで幾何学模様を画いたり、文具の歴史を紙芝居で紹介したりしました。
サイエンスショー	実施回数 1日5回 1,534回 参加者数 38,705人 (1回平均25人参加)	みらいーらステージで大規模に行っているサイエンスショーは、科学館のメインコンテンツとして利用者の人気プログラムに定着しました。演者と参加者がショーを介して交流する中で、予測したり考えたりするプロセスを重視したプログラムとしています。今年度は COVID-19 感染拡大防止の観点から、1回10分のプログラムを1日5回、3種類ずつ実施しました。
	実施回数（夜の科学館） 1日2回 24回 参加者数 391人 (1回平均16人参加)	毎月第3金曜日に開催した「夜の科学館」にあわせて、大人向けのサイエンスショーを実施しました。日中の時間帯に行うサイエンスショーと比べて、原理の解説をより詳細にするなどの工夫を加えたものです。科学館が大人でも楽しめる場所であるという印象を少しずつ浸透させていきます。

名称	実績	内容
ミニワークショップ	実施回数 1日1回 312回 参加者数 7,816人 (同保護者数含む) 15,598人	10～15分程度で体験できる、実験や工作などのプログラムを行いました。およそ2週間ごとに内容を入れ替え、コンテンツの鮮度を保ち、リピート参加を促進しています。加えて、科学館ボランティアが参画しやすく、利用者との交流の場としての役割も定着しました。
企画展 ミニワークショップ	通常プログラムとは別に各企画展に関連したミニワークショップを実施しました。	
	実施回数 1日1回 21回 参加者数 1,046人	春の企画展「ビーコロ展 in 浜松」『動く仕組みを考えよう！ピコピコカプセル』を実施しました。自作のルートの中を特殊な動きで進むカプセルの動きを観察しました。
	実施回数 1日1回 43回 参加者数 1,667人	夏の企画展「身近で気になる昆虫展」『磁石の力でバタバタバタフライ』、『この指とまれ！バランス昆虫』、『何が好物？ゆらゆらちようちよ』の計3つの演目を隔週入れ替わりで実施しました。昆虫の生態を磁石や重力など科学要素を取り入れながら表現しました。
	実施回数 1日1回 18回 参加者数 102人	冬の企画展「プラネタリウムをより楽しむための企画展」『ミニ星座早見盤』を実施しました。キットを内製し、その季節・時間帯に見られる星座を表すことができる星座早見盤を作ってもらいました。
	実施回数 1日1回 13回 参加者数 113人	春の企画展「わたしにとっての文具展～つかう、つくる、つたえる～」『熱で変化！感熱紙カード』を実施しました。感熱紙に熱を加えると黒色に変化する性質を、絵を描きながら学んでもらいました。
サイエンスラボ ものづくりラボ	実施回数 42回 参加者数 3,165人	今年度も昨年度に引き続き、時間の短縮、定員の削減、野外での実施など感染対策を十分に施し、現在の環境で出来る内容（例：15分で科学実験・自然観察、105歩で生き物観察、化石探し体験、火おこしに挑戦など）を考案、実施しました。
合計	実施回数 449回 参加者数 13,909人	

5. プラネタリウム

(1) 投映スケジュール

4月1日～9月30日、2022年3月1日～3月31日

(プラネタリウムリニューアル工事のため10月1日～2022年2月28日まで投映休止)

回	平日（長期休暇を除く）	土曜・日曜・祝日・長期休暇期間
1	10：00～10：45 事前予約団体	10：30～11：10 キッズプラネタリウム
2	11：30～12：15 事前予約団体	11：40～12：35 生解説プラネタリウム
3	13：00～13：45 事前予約団体※水曜は生解説プラネ	13：15～13：55 大型映像
4	14：30～15：10 生解説プラネタリウム	14：30～15：25 生解説プラネタリウム
5	15：50～16：45 大型映像	15：50～16：30 大型映像
6	17：50～18：30 特別投映（毎月第3金曜日）	—————
7	18：50～19：30 特別投映（毎月第3金曜日）	—————

(2) 投映番組



① 生解説プラネタリウム

当日の星空解説とテーマ解説を、スタッフがすべて生解説することによって、一方的ではなく双方向のコミュニケーションを重視した投映を展開しました。テーマ解説部分では、企画・シナリオ・作画・動画制作・編集・スクリプト制作などの工程をスタッフが内製化し、宇宙天文に関する話題をタイムリーに提供しました。

また、2022年3月のプラネタリウムリニューアルオープンに合わせて、新しいプラネタリウムの機能の1つである「リアルな星の瞬き」を活用し、浜松特有の「遠州のからっ風」とも関係が深い「星の瞬き」をテーマにした「星がキラめく街“浜松”～遠州のからっ風ときらきら星～」を制作し、リニューアルオープン記念番組として投映しました。

【テーマ】

投映期間	テーマ内容	回数	観覧者数
4月1日～6月20日	「月まで何キロ？」 私たちにとってなじみ深い天体である月。地球との距離や成り立ちなど、未知数な月の魅力を解説。	94回	3,921人
6月22日～7月7日	「七夕伝説」 「七夕」に関する伝説の紹介と伝説のとおり織女星と牽牛星は出会うことがあるのかシミュレーション機能で確認した。	18回	979人


投映期間	テーマ内容	回数	観覧者数
7月8日～9月30日	「流れ星ってなに？」 夜空に光の筋をひいて、一瞬のうちに消えてしまう流れ星について解説。 	102回	7,828人
2022年3月1日～ 3月31日	「星がキラめく街“浜松”～遠州のからっ風ときらきら星～」 浜松地域に吹く「遠州のからっ風」と関係のある星の瞬き。キラキラと輝く星空について解説。プラネタリウムリニューアルオープン記念番組。 	48回	3,681人
合計		262回	16,409人

① 大型映像

プラネタリウムドームを有効活用し、科学分野の大型映像を上映することで科学への興味・関心を高めました。
 2022年3月からは新しくなったプロジェクターでより明るく美しい映像を投映しました。

【上映コンテンツ】


上映期間	コンテンツ内容	回数	観覧者数
4月1日～4月29日	「タートル オデッセイ」 アオウミガメの一生を追う、ドキュメンタリー。 	13回	740人
5月1日～9月30日	「ムシムシ！昆虫プラネット」 人気の「秘密結社 鷹の爪」団が登場し、体を小さくして昆虫の世界を探る。昆虫たちの迫力ある映像と笑いのあるシナリオで、幅広い層が楽しめる番組。 	79回	4,517人
4月1日～9月30日	「オーロラの調べ—神秘的の光を探る—」 ゆらめくカーテン、渦巻く光…。北極圏で見える星空、氷河やツンドラに連なる山々の絶景。大自然とともにオーロラの魅力を満喫する番組。 	153回	4,714人

放映期間	テーマ内容	回数	観覧者数
2022年3月1日～ 3月31日	「ハナビリウム」 花火師たちがつないできた文化と歴史 の物語を紹介する番組。 	48回	2,748人
合計		293回	12,719人

② キッズプラネタリウム

小学校低学年以下の児童が、家族と楽しめる星空生解説番組を、通常より短い30分間で実施しました。放映当日の夜に、浜松で見られる星空案内と来場日の誕生日星座を生解説で放映することで、毎月内容が変わり、いつ来館しても新しい発見があるようにしました。

2022年3月からは「おたんじょうびのせいざ」のことが、より楽しく学べる新しい演出コンテンツを追加しました。




放映期間	放映内容	回数	観覧者数
4月1日～9月30日, 2022年3月1日～ 3月31日	「こんやのおほしさと おたんじょうび のせいざ」 今夜、浜松で見られる星空案内お よび来場日の誕生日星座や神話な などを紹介。 	118回	6,917人

テーマ（星座）	放映期間	テーマ（星座）	放映期間
おひつじ座	4月1日～4月20日	おとめ座	8月24日～9月23日
おうし座	4月21日～5月21日	てんびん座	9月24日～9月30日
ふたご座	5月22日～6月21日	うお座	3月1日～3月20日
かに座	6月22日～7月23日	おひつじ座	3月21日～3月31日
しし座	7月24日～8月23日		

② 事前予約団体を対象とした放映

小学校向けに、理科の授業カリキュラムに合わせた学習放映を行いました。今年度より小学4年生向けに加え、小学6年生向けプログラムと中学生以上向けプログラムを用意し、放映しました。加えて、理科学習以外での利用にも対応するため、幼稚園・保育園や小学校低学年向けのスタンダードプログラム2種類（ショート：約25分間、フル：約30分間）を用意しました。キッズプラネタリウムの内容をベースとしたものです。

生解説の特徴を活かし、スタッフが臨機応変に解説内容を変えることで幅広い年齢層に合わせた放映となっています。

放映期間	放映内容	回数	観覧者数
4月1日～9月30日, 2022年3月1日～ 3月31日	幼稚園・保育園向け星空生解説番組 スタンダードフル スタンダードショート 	22回	987人
4月1日～9月30日, 2022年3月1日～ 3月31日	小学校向け学習放映 スタンダードフル スタンダードショート 理科学習小学4年 理科学習小学6年 大型映像  	13回	903人
4月1日～9月30日, 2022年3月1日～ 3月31日	その他団体向け放映 スタンダードフル 理科学習中学生以上	6回	385人
合計		41回	2,275人

(3) プラネタリウムの利用促進

・プラネタリウムドームを活用したイベント等の開催（特別放映）

利用者層の拡大を目指し、毎月第3金曜日に「みらいーら 夜の科学館」を開催しています。その主たるプログラムとして、大人（高校生以上）限定の特別放映「スターフライト」を行いました。世界各国の星空を巡るバーチャルツアーを楽しんでもらえるよう、観覧者には「パスポート」を配布して、毎回、目的地別にデザインされたスタンプを押す演出を施しました。リピートを促進し、6回以上の観覧者には記念品を贈呈しています。COVID-19の影響で海外旅行を回避している方々に対しても、高い訴求力があつたと思われます。

なお、昨年度の4～6月に臨時休館したため、その際に予定していた3回分を今年度実施しました。7～9月には見逃してしまったという声にお答えして、総集編である「周遊編」を4カ国ずつ3回に分けて実施しました。

また、2022年3月には新しいプラネタリウムでゆったりと星空をお楽しみいただく「新しいプラネタリウムで星空さんぽ」を実施しました。

6. アテンダント

① 業務の概要

利用者に対し適切な案内を行い、顧客起点の接客や確実な発券業務により、利用者満足度を高めるよう努めました。随時、業務マニュアルに基づく研修を行い、スタッフ各人が高いサービス水準の維持、向上を図っています。また、学習利用団体等の予約に際しては、利用者からの申込書の受付や電話対応、下見対応などの窓口を一元化し、状況に応じた、利便性の高いスピーディーな対応を行いました。

② 業務実績

◎ 1階インフォメーションにおける受付・案内業務

業務	内容
来館者の誘導、案内、受付業務	丁寧かつ的確な来館者の誘導や案内に努めました。また、団体利用の申込受付や下見に際しては、できるだけ利用時の不明点を解消できるよう対応しました。 また、利用者視点での臨機応変な対応を心がけ、より利用者一人一人に合った最適なサービスの提供を目指しました。
発券業務	常設展入場料、プラネタリウム観覧料等の利用料金の徴収（減免手続や領収書発行等含む）やチケットの発行、年間パスポートの新規発行や更新手続、プラネタリウムの残席数の管理、各種割引券への対応、提携駐車場チケット等の配布を行いました。また、COVID-19対策の一つとして、非接触対応ができるようにクレジットカード、QRコード決済を導入しました。
科学学習情報システム端末貸出業務	科学学習情報システムの貸出端末利用者への対応、貸出料金の徴収、使用方法の説明を行いました。
情報提供業務	周辺及び市内の文化施設や関係機関に関する情報提供等を行いました。特に、利用者からは、駅へのアクセスや周辺飲食店についての質問が多く、パンフレット等を活用して積極的な対応をしました。また、インフォメーションのツイッターアカウントを開設し、館内のイベントや地域の情報を投稿しました。
その他業務	来館者に、より楽しんで利用していただくため、1階のインフォメーションカウンター周りに、季節の飾りつけを行いました。利用者の中には、装飾の前で記念写真を撮られる方もいました。また、日本語を母語としない利用者の方にも対応できるよう、多言語で作成したプラネタリウムの注意事項等を適宜配布しました。（英語・ポルトガル語・中国語）



◎ プラネタリウムにおける誘導・案内、安全管理業務

科学館3階のプラネタリウムドーム内で、観覧者の誘導、案内および安全管理を行いました。

業務	内容
チケット確認	観覧券の確認および観覧者数のカウントを行いました。
誘導案内	座席への誘導および出口への誘導を行いました。また、観覧者に対しドーム利用上の注意点等の説明を適宜行いました。
安全管理	非常時の避難誘導を含めた、番組投映中の場内の安全管理に取り組みました。また、避難誘導訓練を行い、観覧者の安全確保に努めています。

7. 連携協力事業

(1) 学校等との連携

科学館の特長を活かした効果的な学習を、浜松市教育研究会理科研究部や学校の先生方と連携して取り組み、学校団体が利用しやすい環境の確保に努めました。

① 学校団体の学習利用の推進

展示室の見学とプラネタリウムの学習投映を基本とした学校等の団体向けのプログラムを設けて、学年や学校側の諸条件に合わせて選択できるようにしています。『浜松科学館 学習利用ガイドブック』（A4判 19頁）を科学館ウェブサイトにも掲載しています。



また、浜松科学館ニューズレター「COMPASS」を、昨年度に引き続き、浜松市、湖西市、磐田市、袋井市、森町の全小学校児童に教育委員会経由で配布し、一層の周知を図りました。なお、掛川市は教育委員会からメールでのデータ配信に切り替わりました。

教育団体利用状況

区分		2021年度		2020年度	
		校数	人数	校数	人数
小中学校	浜松市	69校	4,083人	53校	4,606人
	県内他市	73校	4,584人	46校	3,437人
	県外	2校	155人	1校	42人
特別支援学校	県立	10校	150人	1校	42人
	県外（国立含む）	1校	5人	0校	0人
高等学校	県内	8校	236人	0校	0人
	県外	0校	0人	3校	509人
幼・保育園	浜松市	57園	3,125人	38園	2,560人
	県内他市	0園	0人	4園	221人
その他団体(専門学校等)		18団体	612人	4団体	112人
合計		238団体	12,950人	150団体	11,529人

② 学習利用にあたっての教員との連携・協力

教員・引率者の相談や実地踏査（下見）に対応し、学習効果の高い授業の実施を支援しました。児童・生徒が展示を活用して主体的に学ぶことを支援するワークシートを用意し、ウェブサイトダウンロードできるようにしています。また、リバージオモデル、浜松（天竜川）の岩石学習キット等の教材貸出の対応も行っております。

③ 出張科学館の実施

これまで行ってきたサイエンスショー、野外観察に加えて、星空解説や浜松市天文台との合同アウトリーチ活動を行いました。

月日	学校名	参加人数	実施内容
6月29日	浜松市立大瀬小学校	46人	1年生を対象に体育館にてシャボン玉のサイエンスショー。
7月1日	浜松市立与進北小学校	35人	科学クラブの児童を対象に理科室にて「色変わり」「燃焼」「空気」のサイエンスショー。
9月14日	浜松市立葵が丘小学校	36人	発達支援学級の児童対象に液体窒素を使ったサイエンスショー。
10月20日	浜松市立都田南小学校	64人	都田総合公園にて昆虫採集。
11月2日	浜松市立葵が丘小学校	21人	特別支援学級の児童を対象に星空解説。
11月4日	浜松市立大瀬小学校	40人	小学校4年生向けに星空解説。
11月5日	浜松市立笠井小学校	50人	天文台との合同アウトリーチ。天体観望会と国立天文台が開発した4次元デジタル宇宙コンテンツ「Mitaka」で宇宙旅行体験を実施。
11月12日	春野図書館	50人	
11月19日	浜松市立積志中学校 萩原分校	30人	中学1～3年生を対象に「燃焼」のサイエンスショー。
2月22日	浜松市立豊西小学校	64人	6年生を対象に液体窒素のサイエンスショー。
3月10日	静岡大学附属浜松小学校	70人	4年生を対象に「空気」「状態変化」のサイエンスショー。

④ 作品展、表彰式に関する業務

小・中学校の児童・生徒の理科研究作品等について、関係団体との連携・協力により、作品展を開催しました。また、今年度は COVID-19 感染拡大の懸念により授与式を中止し、優秀賞を受賞した生徒の学校を直接訪問し、賞状を手渡しました。（参照：P50 VIII 資料 2「2021 年度イベント・講座実施状況」）

名 称	開催時期	場 所	実施内容
浜松市小・中学生理科自由研究作品展	9月11日～23日	浜松科学館 ホール	浜松市教育研究会理科研究部と共催。
第2回小・中学生発明ふうコンテスト	9月23日～26日	浜松科学館 ホール	浜松経済クラブと共催。
みらいーら自由研究優秀賞授与	2月～3月	（授与式中止）	優秀賞を受賞した生徒の学校を訪問し、館長より賞状を手渡しました。 （5校5人） 表彰を希望しなかった学校には職員が直接学校に赴き、賞状を届けました。（4校5人）

⑤ 児童・生徒等に対する相談の実施

小・中学校の児童・生徒をはじめとする市民の科学や理科に関する相談に対し、助言等を行いました。
（計 24 件）

月 日	担 当	質問・相談内容/方法	対応・回答
6月13日	サイエンスチーム	（来館） ビーゴ装置の制作方法について	ものづくりラボで、職員が春に制作したものを紹介しながら解説、説明を行いました。
6月24日	サイエンスチーム	（来館） 科学館について	浜松市立東小学校が来館し、みらいーらステージを使用して科学館についての質問に答える機会を設けました。
8月1日	天文チーム	（来館） プラネタリウム解説員について （職業インタビュー）	浜松市立白須賀中学校の生徒1名が来館し、プラネタリウム解説員についての質問に対応しました。
7月16日	サイエンスチーム	（来館） 自由研究の相談 研究の進め方について	口頭で説明を行いました。

月日	担当	質問・相談内容/方法	対応・回答
7月16日	サイエンスチーム	(来館) 自由研究の相談 拡大観察の方法について	口頭で説明を行いました。
7月22日	サイエンスチーム	(来館) 自由研究の相談 土砂実験のやり方について	口頭で説明を行いました。
7月22日	サイエンスチーム	(来館) 自由研究の相談 習字の筆の洗い方について	研究のやり方について、口頭で説明を行いました。
7月23日	サイエンスチーム	(来館) 自由研究の相談 線香花火の作り方について	口頭で説明を行いました。
7月28日	サイエンスチーム	(来館) 自由研究の相談 浮力について	口頭で説明を行いました。
8月2日	サイエンスチーム	(来館) 自由研究の相談 岩石について	口頭で説明を行いました。
8月2日	サイエンスチーム	(来館) 自由研究の相談 根粒菌について	口頭で説明を行いました。
8月16日	サイエンスチーム	(来館) 自由研究の相談 ひまわりの生育について	口頭で説明を行いました。
8月16日	サイエンスチーム	(来館) 自由研究の相談 岩石について	実体顕微鏡、デジタルスコープを使用して実際に観察しながら説明を行いました。
8月16日	サイエンスチーム	(来館) 自由研究の相談 岩石の同定について	口頭で説明を行いました。
8月19日	サイエンスチーム	(来館) 自由研究の相談 うどん粉について	口頭で説明を行いました。
8月23日	サイエンスチーム	(来館) 自由研究の相談 ハスとヨーグルトのフタについて	生物顕微鏡、デジタルスコープを使用して観察しながら、説明を行いました。
8月23日、 27日	サイエンスチーム	(来館) 自由研究の相談 グルテンについて	口頭で説明を行いました。

月日	担当	質問・相談内容/方法	対応・回答
8月25日	サイエンスチーム	(来館) 自由研究の相談 アオスジアゲハについて	口頭で説明を行いました。
8月28日	サイエンスチーム	(電話) 自由研究の相談 花火の音について	電話で説明を行いました。
9月18日	サイエンスチーム	(来館) トノサマバッタの飼育方法について	口頭で説明を行いました。
11月20日	サイエンスチーム	(電話) 入浴剤の作り方	上野が出演した「ウィークエンド中部」を視聴した方から電話で問い合わせがあり、説明を行いました。
12月17日	サイエンスチーム	(来館) 植物の種の同定依頼	口頭で説明を行いました。
12月25日	サイエンスチーム	(来館) なぜ自然を守らなければならないのか	口頭で説明を行いました。
12月27日	サイエンスチーム	(来館) 発電方法について	口頭で説明を行いました。

⑥ 学校・公的機関の研修、実習等への対応

学校や教育委員会等の教育関係機関等の公的機関が行う研修、実習等を積極的に受け入れています。

(参照：P50 Ⅷ 資料2「2021年度イベント・講座実施状況 教育機関関連事業」)

月日	研修・実習
4月15日～9月20日	長期企業内留学：浜松学院大学（2人）
6月9日・10日	生涯学習施設職員及びボランティアのための実技研修会（95人）
① 8月5日・6日	市内小・中学校の依頼による教職員を対象とした社会教育施設研修（2人）
② 8月25日・26日	① 磐田市立長野小学校 1人 ② 静岡県立袋井特別支援学校 1人
9月14日～26日	大学生の博物館実習（4人） 中央大学 1人・名城大学 1人・帝京科学大学 1人・東京都市大学 1人
① 11月2日	中学生の職場体験（3校 計 16人）
② 11月11日・12日	① 浜松学院中学校 1人 ② 雄踏中学校 10人・富塚中学校 5人
1月14日～20日	市内図書館職員の博物館実習：舞阪図書館（1人）

⑦ 幼稚園・保育園の利用への対応

幼稚園・保育園に対し、幼児向けの投映等を実施しました。（参照：P13「5 プラネタリウム」）

(2) 教育関係機関等との連携

浜松市内の教育関係機関、研究機関、企業等と連携し、講座や展示教材の貸出などを行いました。

名 称	開催時期	場 所	実施内容
超拡大ラボ	4月1、2、4、5、6、10、11、18、25、29日	浜松科学館 でんけんラボ	1組ずつスタッフとデジタルカメラ、電子顕微鏡を貸し切りにして持ち込んだ試料を観察しました。針山孝彦特命研究教授（浜松医科大学）に観察した成果について講評をいただきました。
浜名湖花フェスタ2021	4月3日	はままつフラワーパーク	はままつフラワーパークで、科学館のPRを行いながら、生物顕微鏡を用いたタンポポとスギの花粉の観察を行いました。
ルネサンス・ペットアカデミー講義	5月6日、20日	浜松科学館 サイエンスライブラリー	トークオブワンダー『映画「かくや姫の物語」に登場するのは何ザクラ?』を紹介しながらイベント企画について講義を行いました。
磐田南高等学校生物部研修支援	8月17日	浜松科学館 でんけんラボ	浜松科学館の電子顕微鏡を用い、ヒョウモントカゲモドキ及びオオトカゲ等の脱皮殻の観察を行いました。
教材貸し出し	① 10月14日～ 10月28日 ② 10月25日～ 1月30日 ③ 11月10日～ 11月17日		① 静岡大学附属浜松小学校に「天竜川の石」を貸し出しました。 ② 北杜市オオムラサキセンターに「モルフオギター」を貸し出しました。 ③ 星瑛国際高等学校浜松学習センターに「天竜川の岩石標本一式」を貸し出しました。
磐田南高等学校生物部研究協力	10月16日、31日	浜松科学館 でんけんラボ	自然ゾーンの「でんけんラボ」にて、電子顕微鏡でヤモリやトカゲの表皮を観察、撮影を行いました。
第6回小・中学生理科研究プレゼンテーションコンテスト	10月24日	浜松科学館 ホール	トップガン教育システム協議会主催の、小中学生による自由研究プレゼンテーションコンテストが浜松科学館を会場として行われました。
静岡大学情報学部マルチコプター講習会	11月9日	静岡大学工学部	静岡大学の遊橋研究室主催のマルチコプター講習会に職員2名が参加しました。

名 称	開催時期	場 所	実施内容
プロスペラ学院ビジネス専門学校 講義	12月16日、17日	浜松科学館 ホール	「ミュージアムから見るDX」について、15分間のミニ講義を計4回行いました。
第9回 MATH やらまいか決勝大会	12月18日	浜松科学館ホール	トップガン教育システム協議会のMATHやらまいか決勝大会が浜松科学館を会場として行われました。
観察用資料の借用	1月12日	浜松市動物園	ホッキョクグマの毛、フンボルトペンギンの羽毛を浜松市動物園より借用、アクティブ展示解説のなかで断面構造を観察しています。
浜松デザインカレッジ 講評会	1月13日	浜松デザインカレッジ	浜松デザインカレッジの2年生40人を対象に連携授業を開催しました。「浜松科学館のプラネタリウムを盛り上げる」というテーマで学生からアイデアをもらい、職員が講評を行いました。(作品展示会は中止)
擬態昆虫観察会	2月6日	北杜市オオムラサキセンター	擬態の生態的意味を屋内で講義した後、野外にて擬態昆虫4種を実際に探しながら観察しました。(講師派遣)
ゆめいっぱい小学生 宇宙絵画展	2月20日 ～3月6日	浜松科学館 1F 出口ゲート付近	浜松市天文台主催のイベントに協力し、優秀作品を展示しました。
やらまいかテクノロジー コーナーの設置	① 4月～5月 ② 6月～8月 ③ 7月～2022年1月 ④ 9月～2022年1月 ⑤ 2022年2月 ～2022年5月	浜松科学館 常設展示室 2F やらまいかストリート	① 有限会社ハーモテック 「無重力テーブルの展示及びテンセグリティ構造についてのアクティブ展示解説」 ② レワード株式会社 「ユニフォームのプリント方法及び昇華プリントについてのアクティブ展示解説」 ③ テイボー株式会社 「ペン先製造技術・毛細血管現象の説明及び毛細管現象についてのアクティブ展示解説」 ④ エンケイ株式会社 「アルミホイール展示」 ⑤ 株式会社 ROKI「マスク機能展示」



観察用資料の借用



ゆめいっぱい小学生宇宙絵画展



ルサンス・パレットアカデミー講義



有限会社ハーモテック

(3) その他（研究機関や科学館との連携事業等）

① 研究機関等との連携

科学に関連した研究機関との連携を行いました。

名 称	月 日	内 容
カブトムシの集団遺伝学的研究の補助	8月27日	兵庫県立人と自然の博物館が主導しているカブトムシの集団遺伝学的研究の補助として、磐田市内で採集したカブトムシ1匹を、静岡県地域の取りまとめを行っている静岡県立ふじのくに地球環境史ミュージアムへ郵送しました。

② 全国の科学館との連携・協力

当館が加盟している日本博物館協会、全国科学博物館協議会、全国科学館連携協議会等の会合に参加しました。また、他の科学館、博物館との連携等を図りました。



名 称	開催時期	実施内容
全国科学館連携協議会 東海ブロック研修会	1月21日 (オンライン開催)	(研究発表) 本研修会にオンラインで参加し、夜の科学館についての事例発表を行いました。

③ 他機関や他のイベントとの連携による賑わい創出

7月には、昨年度初めて開催して好評だった、「注染・ゆかたコレクション」を(一社)静岡県繊維協会と連携して開催しました。浜松学芸中学校・高等学校の生徒38人が参加し、当日は職員も浴衣を着用して業務にあたりました。また、「スポーツの日」には、浜松市内の企業・事業者と連携し、スポーツにまつわる展示・催事を初めて実施しました。

名 称	開催時期	実施内容
注染・ゆかたコレクション	7月17日、18日	浜松学芸中学校・高等学校による浴衣ファッションショー(17日)、二橋染工場による注染染めの体験イベント(18日)を開催しました。 また、8事業者にご協力いただき、ミュージアムショップで遠州織物等の販売を行いました。



名称	開催時期	実施内容
みらいーらスポーツ DAY	7月23日 (スポーツの日) ※展示は7月25日まで	浜松市内7社(レワード株式会社・PUKUPUKU 工房、高柳喜一商店・株式会社クシタニ・メガバス株式会社・XCUBE、ペアトレリズム Lab.)にご協力いただき、スポーツにまつわるグッズの展示、リズム体操、AR体験等を無料ゾーンにて開催しました。スポーツにまつわるサイエンスショー(協力:浜松やまいか大使・天玲美音氏)も3回実施したほか、ミュージアムショップでのスポーツグッズ販売やカフェでのスポーツドリンク販売など、館内を盛り上げました。 
おうちでできる暑さ対策募集・表彰	募集:7月1日～8月10日 ※表彰式(29日)は中止	2020年8月17日浜松観測所で41.1度を記録し「日本一暑い町」となった浜松の記念イベントとして浜松まちなかにぎわい協議会が企画。市内の中学生以下を対象に「おうちでできる暑さ対策」のアイデアを募集し、浜松こども館、ウオット、浜松市立青少年の家及び浜松科学館が募集の窓口となりました。343件の応募があり24件を選定しました。
発明とアイデア展	11月20日、21日	浜松発明研究会の発明品を出口ゲート付近にて披露し、メンバーの方々による説明や実演が行われました。 

⑤ 市中心部のイベントとの連携

COVID-19 感染予防対策のため、市中心部のイベントはほとんど実施されませんでした。昨年度に引き続き、下記サービスの利用施設にエントリーし、中心市街地への回遊性を高めるための取り組みを推進しました。

- ・浜松・浜名湖ツーリズムビューロー主催「浜松・浜名湖ぐるっと満喫ドライブスタンプラリー」(第2弾)
- ・観光優待券対象施設
- ・遠州鉄道・天竜浜名湖鉄道「沿線 満喫!クーポン券」

⑥ 近隣駐車場の提携利用

提携駐車場(イタクパーキング※2019年12月1日から提携)利用者に一定額(150円)の割引チケットを提供しました(※常設展・プラネタリウム観覧者対象)。

年度	2021年	2020年	2019年
利用枚数	2,246枚	1,600枚	413枚

8. ボランティア活動支援

科学館活動のパートナーとして市民ボランティアと連携し、科学を楽しむ地域文化の創造を目指しています。

① 募集・面談・登録・研修

2021年4月1日～5月23日に募集を行いました。6月12日、13日に個別に面談したのち、新規で一般ボランティア3人、ジュニアボランティア（中学生・高校生）15人が登録、6月19日、20日のオリエンテーションを経て、7月11日から活動を開始しました。

（2021年度登録数：一般ボランティア12人、ジュニアボランティア30人 計42人）

② ボランティア活動の場

来館者とのコミュニケーション、展示解説、ミニワークショップの運営をスタッフと共に実施しました。自然観察園の整備活動では、景観の美化、樹木の維持管理として低木の伐採や清掃を実施しています。また自然観察園内の生物の観察、職員による講義などに参加しました。



③ 活動実績

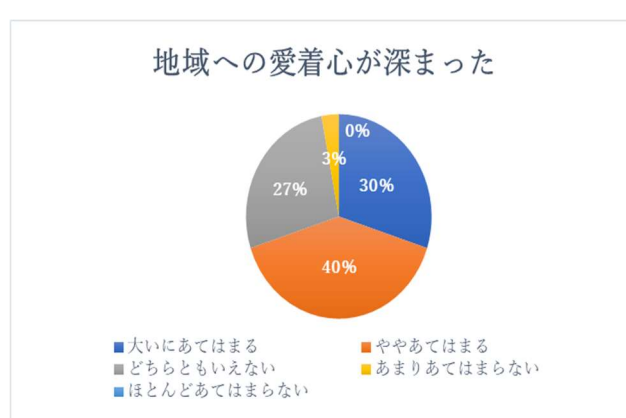
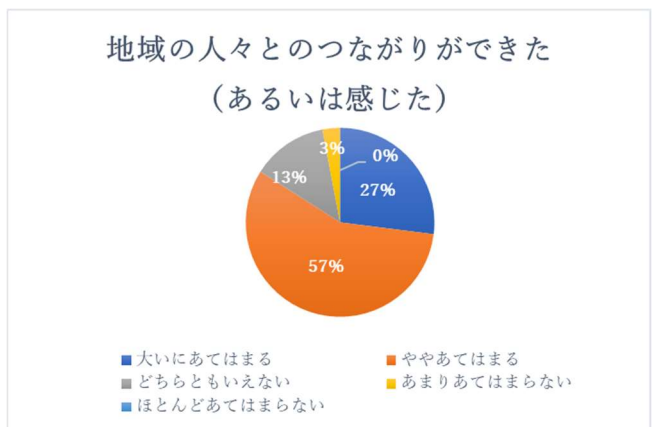
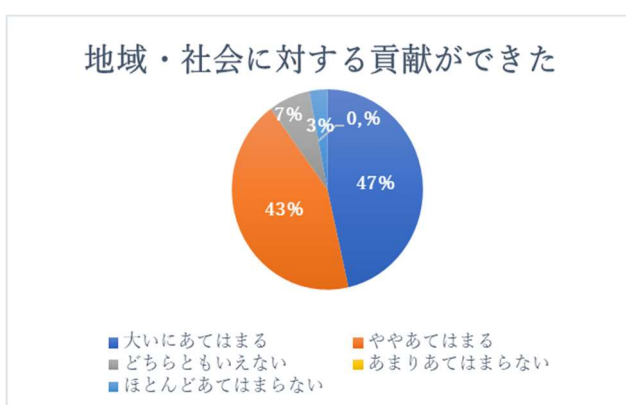
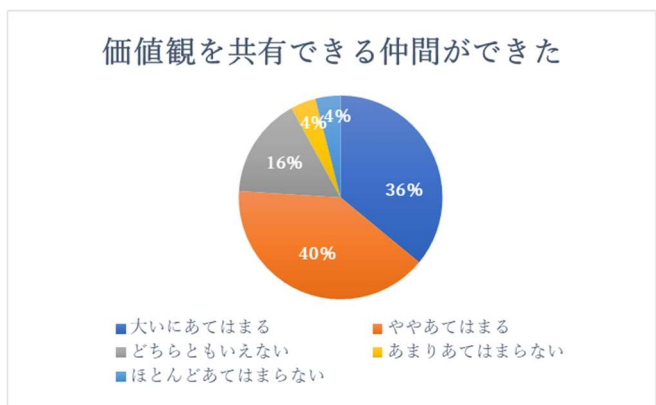
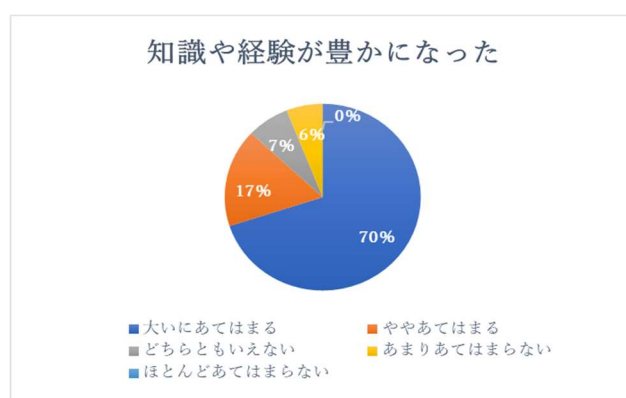
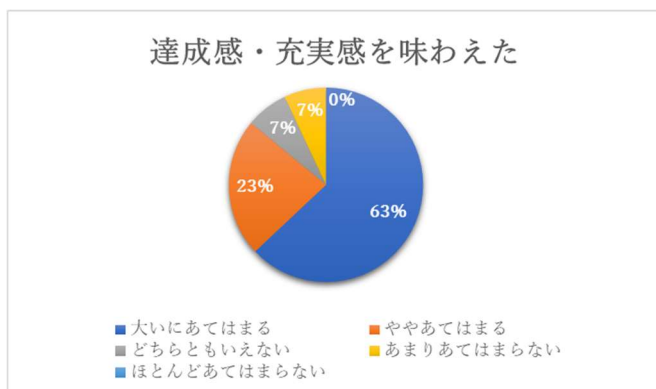
年間で延べ103日、延べ202人が参加しました。

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
活動日数（日）	9	8	7	7	19	0	7	10	8	7	9	12	103日
一般	4	6	5	8	7	0	6	10	7	5	5	7	70日
ジュニア	7	7	5	15	19	0	6	8	8	6	7	10	98日
参加人数（人）	11	13	13	25	27	0	19	23	20	16	14	21	202人
一般	5	7	6	7	6	0	9	9	8	6	6	7	76人
ジュニア	6	6	7	18	21	0	10	14	12	10	8	14	126人

④ 活動評価（ボランティア活動満足度調査：2022年3月実施 回答者30人）

ボランティア活動の評価指標として、以下6項目についてアンケートを行いました。

1. 達成感・充実感を味わえた
2. 知識や経験が豊かになった
3. 価値観を共有できる仲間ができた
4. 地域・社会に対する貢献ができた
5. 地域の人々とのつながりができた（あるいは感じた）
6. 地域への愛着心が深まった



参加回数が多い人ほど達成感を得られ、知識・経験が豊かになったと感じており、充実感を味わえたようです。また「限られた予算の中で、科学をやさしく身近に感じられる学びの教材開発は大変勉強になった」（一般）、「さまざまな人とコミュニケーションをとることで、人とのかわりを学べた。」（ジュニア）、「ミニワークショップでの活動では、すべて

手伝ってしまうのではなく、やり方を伝えて参加者に体験をしっかりとってもらうことが大切だと思った」(ジュニア)、「初めてのボランティア活動だったが、小さい子供からお年寄りまで幅広い年代の方と交流することができ、普段の学校生活では体験できないことを経験できた。自身の見聞が広がる貴重な体験だった」(ジュニア)「他の学校の人と話すことができたり、違う世代の方と接することができたりしたことも良かった。」(ジュニア)などの感想から、ボランティア活動に参加することにより、科学の最新の知見が得られるとともに、来館者だけでなくボランティア同士交流を楽しんでいる様子が見受けられました。

次年度の継続更新希望者は一般9人、ジュニア14人(計23人)。2022年度の活動については、アンケートで得られた今後の活動への希望や改善点を参考にしながら、さらに充実した活動になるよう支援していきます。

9. 調査・研究および収集・保存

年間を通じて浜松科学館自然観察園の生物の分布調査を行いました。その結果を「自然観察園生き物マップ」として出口ゲート近くに掲示し、多くの来館者にご覧いただきました。毎月1回ボランティアとともに自然観察園の整備活動を行い、植物の遷移や外来生物の問題を生態学の野外実習の位置づけで教育普及を行っています。

さらに、noteで自然観察園の生き物観察をテーマにした連載を継続しました。年間で計13本の記事を執筆し、PV数は65,896に上りました。

(note)



浜松科学館 みらいーら
 浜松科学館自然観察園は地域の方々のお散歩ルート。歩道は端から端まで105歩。普通に歩けば1分足らずで通過してしまいます。その1歩1歩にもたくさんの生き物がいて、関わり合い、科学的な事象が起こっています。「小さな森での小さな出会い」を少しずつお届けします。

3 フォロー 452 フォロワー

ホーム プロフィール 植物の話 昆虫の話 鳥類の話 爬虫類の話 哺乳類の話 園類の話 科学館の話

固定された記事
端から端まで「105歩」の自然観察園で、生き物観察をしてみま...
 前回は筆者の自己紹介をさせていただきました。今回はnoteの舞台となる浜松科学館自然観察園をご紹介します。

今日のチューリップは、昨日のチューリップよりも大きい
 見るとしがちな変化新聞の片隅やファミリーレストランの卓上にある「間違いない」。2枚の絵を見比べ。

浜松科学館 公式サイト
 公式ウェブサイトはこちら

10. パブリックリレーションズ

利用者の視点に立った広報に取り組み、利用者の高い満足度の維持と、地域と科学館とのより良い関係づくりができるよう努めました。広報誌・ポスター等の告知物を内製化することで情報を的確に届け、集客を図りました。また、WebやSNS、広報誌を通してスタッフの特徴が伝わるような情報発信を継続して行い、科学館への親しみを感じられる広報に取り組みました。

◆ 紙媒体

事項	内容
科学館ニュースレター COMPASS	科学館の事業の全体的な広報を行うため、浜松市、湖西市、磐田市、袋井市、森町の小学校の全児童に配布。掛川市はデータ送信。また、館内や市内公共施設等で配架しました。 第8号 87,218部（7月発行） A4判×6ページ三つ折り 第9号 85,011部（10月発行） A4判×6ページ二つ折り 第10号 77,000部（12月発行） A4判×6ページ二つ折り 第11号 76,790部（2月発行） A4判×6ページ三つ折り
科学館リーフレット	2022年3月にプラネタリウムリニューアルにあわせてデザインを一部刷新。来館者を中心に配布しました。
星空案内	浜松市天文台との共同編集で月に一度発行しました。 4～7月 2,700部/月 A3判二つ折り 8月 3,500部/月 A3判二つ折り 9月 3,200部/月 A3判二つ折り 10～12月 2,700部/月 A3判二つ折り 1～2月 2,300部/月 A3判二つ折り 3月 2,900部/月 A3判二つ折り

(科学館ニュースレター COMPASS)



(科学館リーフレット)



(星空案内)



事項	内容
ポスター、フライヤー	<p>科学館の催し等の集客を目的とし、ポスターおよびフライヤーを発行しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポスター6種 計 2,694 枚 ・フライヤー3種 計 8,600 枚



◆ ウェブ媒体

事項	内容
公式ウェブサイト	<p>ブログ等の更新や内容の定期的な見直しを行うことで、動きのあるサイトの維持を図りました。ミニガイドブックなどは、Web サイトからダウンロードして使用できるようにしています。サイトへのアクセス動向は以下の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ユーザー数 176,031 ・セッション数 266,269 ※セッション：ウェブサイトへの訪問のこと ・平均ページセッション数 4.02 ・平均セッション時間 2:27 <p>(※2021年4月1日～2022年3月31日の集計)</p>
公式 SNS アカウント	<p>Twitter、Facebook、Instagram、YouTube の公式アカウントを通じて、催しの告知などを発信し、浜松科学館への集客を図りました。</p>

◆ バブリシティ（※詳細は P56 資料参照）

項目	件数	内訳
テレビ・ラジオ	41 件	テレビ：21 件、ラジオ 20 件
新聞・雑誌	69 件	新聞：62 件、雑誌 7 件
ウェブ	40 件	TV 系：3 件、新聞系：28 件、その他：9 件

◆ 広告

広告	2 件	新聞広告 1 件 電車中吊り広告 1 件
----	-----	----------------------

（静岡新聞「YOMO っとしずおか」 広告）



11. 視察・調査

静岡県内外の行政視察や科学館関係者、学校関係者等の視察・調査の対応をしました。

区分	団体名・名称	月日
行政・議会	栃木県保健福祉部子ども政策課	10月15日
科学館等	第30回指定都市科学館連絡会議(文書回答)	6月1日
	静岡科学館る・くる	6月18日
	北杜市オオムラサキセンター	10月25日
	愛媛県立総合科学博物館	11月25日
	横須賀市自然・人文博物館	3月8日
学校(総合学習、理科教員視察等)	事業構想大学院大学	11月21日
その他	富士川まちづくり株式会社	4月27日
	(公財) 浜松地域イノベーション推進機構フロンタ レーセンター	6月9日・18日
	山崎自然科学教育振興会	8月7日
	浜松市消防局(南消防署 立ち入り検査・文化財 防火デー視察)	1月20日・21日

IV 維持管理業務

1. 科学館の維持保全業務

① 施設維持管理業務

来館者に満足してもらうための快適かつ機能的な環境を継続的に提供することを目的に、予防保全を基本とし、中長期的な視点からライフサイクルコストの低減に努めました。公共施設、社会教育施設としての施設特性を踏まえ、その目的の達成を施設維持管理面で支えるため、故障や不具合発生を未然に防ぐよう計画的に業務を行います。

② 業務実績

分類	分類	項目	仕様	2021												2022			備考
				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
設備運転管理業務	設備運転管理業務	日常設備管理、残留塩素測定		1~30	1~31	1~30	1~31	1~31	1~30	1~31	1~30	1~31	1~30	1~31	1~31	1~28	1~31	常駐業務	
1.建物管理業務	1.建物管理業務	特殊建築物定期調査	建築物調査	奇数年実施(次回2021年度)						1									2年1回(奇数年)
		建築設備定期点検	換気設備検査				25		1~3									年1回	
			非常用照明装置検査				6		1~3									年1回	
			防火設備点検						1~3									年1回	
2.設備点検業務	2.設備点検業務	昇降機点検		1	1	10	1	1	14	1	1	3	3	1	17			年9回(1~12月) 4回定期点検	
		自動ドア保守点検		7			1			5				12				年4回	
		吸収式冷凍機保守点検		26~30				17				22.24			22			年4回	
		空調設備	パッケージエアコン	26~30								22.24						年2回	
			空調機	26~30								22.24						年2回	
			ファンコイルユニット	26~30								22.24						年2回	
			全熱交換器	26~30								22.24						年2回	
			ポンプ	26~30								22.24						年2回	
			送排風機	26~30								22.24						年2回	
			その他の点検(フロン)					17							22			フロン漏洩点検年2回	
			フィルター清掃	26~30				17				22.24			22			年4回	
			空調自動制御機器点検	26~30								22.24	1.2.3.6					年2回	
			消防設備点検						1~3									年1回	
			総合点検												28			年1回	
			防火対象物点検						1~3									年1回	
			自家用電気工作物保守(電力テラマト監視)	7	6	14	6	6	3	6	1	7	11	21	4			年12回	
			年次検査												21			年1回	
	学校団体等利用状況	非常用発電機保守点検													21			年1回	
		監視カメラシステム保守点検										29						年1回	
	3.環境衛生管理業務	受水槽清掃				14												年1回	
3.環境衛生管理業務		雑排水槽清掃					12							7				年2回	
		害虫駆除・鼠防除管理	建物全域/飲食スペース	22	27	23	30	30	30	26	26	24	28	28	25			年12回	
		簡易専用水道検査					26											年1回	
		水質検査	水質検査全項目(16.12)			16						24						年1回	
	施設歴入場者は 4,394人(前年度 7,041人+37.6%)		略式項目(11)			16												年1回	
			ばいり濃度測定				13						7					年2回	
			レジオネラ菌検査		26			4										年2回	
			フオグ装置保守	30														年1回	
			冷却塔水質管理設備点検	26	19	14	12	11	17									年6回	
			空気環境測定	20		9		20		26		7		22				2ヶ月1回	
			建築物環境衛生管理技術者選任	1~30	1~31	1~30	1~31	1~31	1~30	1~31	1~30	1~31	1~31	1~31	1~28	1~31			

※各月内の数字は実施日

③ 屋外緑地管理業務

サイエンスパーク、自然観察園、サイエンス農園等、科学館敷地内の緑地管理を行い、樹木の剪定・伐採、雑草除去、ニュートンのリンゴの木・醍醐寺のクローン桜、綿花等の生育を図って、周辺環境の向上と美観の保持、事業活用に供しています。

2. 特殊機材・展示物等保守管理業務

① プラネタリウム機器の保守管理業務

プラネタリウム機器を常に正常な状態に保ち、最適な環境の下で安定的に投映を行うことができるようにするために、日常点検を行うとともに、故障やトラブルを未然に防ぐための定期保守点検を行いました。また、不具合が生じた場合は、速やかに復旧させるために、補修や部品交換等の適切な事後保全処置を迅速に行っています。

内 容		実施日
1	総合点検 (光学式プラネタリウム、デジタルプラネタリウム、プロジェクター 等)	5月10日～12日
2	プロジェクター入れ替え	6月21日

② 展示アイテム・ホール設備の保守管理業務

内 容		実施日
1	展示映像機器点検作業 (映像・音響装置、プロジェクター、PC、タブレット端末等調整・動作点検)	適時
2	展示装置・造形物点検作業 (調整・動作点検、目視点検)	適時
3	屋外展示・遊具・霧発生装置点検作業 (調整・動作点検)	適時
4	ホール舞台照明・吊物設備保守点検 ホール舞台音響設備保守点検	適時

3. 什器・備品等保守管理業務

浜松市物品管理規則（昭和40年規則第18号）に基づき、備品台帳を整備し保守・修繕等を、随時行い適切に管理しています。

4. 清掃・警備・防災関係業務

(1) 清掃業務

- ① 日常清掃 日単位の短い周期で日常的に行う清掃業務
- ② 除菌清掃 COVID-19 感染防止対策のために行う清掃業務
- ③ 定期清掃 月1回定期的に行う清掃業務
- ④ 巡回清掃 1日1回の日常清掃と共に行う補完的な清掃業務
- ⑤ 補給作業 資機材や衛生消耗品の不足を確認し、常に補給を行う作業

(2) 警備業務

機械警備業務を実施し、夜間・休館日の警備に対応しました。

(3) 防災関係業務

災害に備えて防災対策を図るとともに、本施設が被災した場合には、直ちに補修等の措置を講じられるよう、設備管理業務協力会社との定例会議を開催し、施設の機能維持に努めています。

項目	実施期間	備考
建築設備点検	9月1日	建築基準法第12条に係る建築・設備の法定検査 (浜松市所管課への報告)
防火対象物点検	9月1日	消防法第8条の2の2に基づく消防署への点検報告 制度
消防用設備等点検(総合点 検)	2月28日	消防法第17条に基づく消防署への点検報告制度
避難誘導訓練	4月15日 10月4日	消防計画書に基づく特定防火対象物の総合訓練
防災教育	10月4日	消防計画書に基づく教育活動 浜松市危機管理課の協力 (地震想定講習・起震車体験)

- 防火権原者及び防火管理者の選定と「浜松科学館消防計画」の策定(浜松消防署に提出)
- 避難誘導マニュアルの作成と自衛消防隊の編成
- 災害時や警報発令時の参集基準、方法の設定(緊急連絡網の整備)
- 緊急事態に備えた教育・訓練の実施-危機管理マニュアルに基づく総合避難訓練の実施(年間2回)
- 浜松市危機管理課の指導による地震想定講習・起震車体験

(4) 安全管理

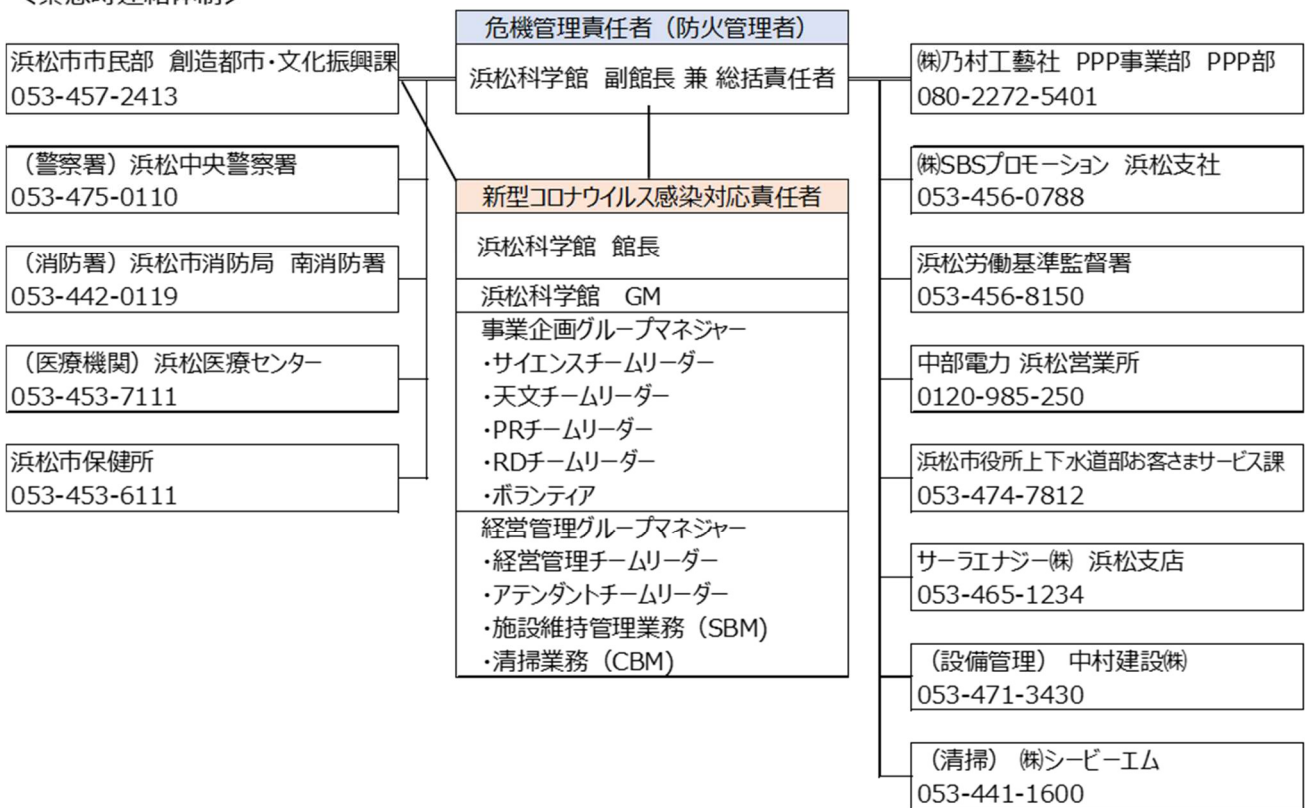
① 安全対策の基本的な考え方

来館者の安全を確保するために、前項（3）防災関係業務に基づき、施設内での事故・災害・盗難・不正・破壊等を未然に防止するよう図っています。特に、日常的な施設の施錠開閉及び入退室者の管理を行うとともに、来館者に対して細やかな心配りにより安全を確保し、危険な事態や火災・盗難等の早期発見と拡大防止に努め、災害や事故に強い施設づくりに取り組みました。

④ 緊急時の対応体制

災害等の発生時には危機管理責任者を中心に連絡体制を整え、浜松市の関連部署と連携を密にした指揮命令系統をつくり、対策にあたります。

<緊急時連絡体制>



5. 修繕工事に関する業務

区分	件数	主要事項の概要	対応状況
故障・不具合	18件	①機械室内分電盤漏水 ②サイエンスラボ西側エアコン修理 ③床面浸水（1F自然ゾーン非常灯） ④3Fプラネタリウム事務室エアコン交換 ⑤展示室分電盤ブレーカー点検 ⑥ホール美術ボタン制御装置動作不良 ⑦プラネタリウムプロジェクター修理 ⑧サイエンスパーク防犯対策工事 ⑨機械室内電気ハンドホール防水パッキン取り付け ⑩ホール配線ダクト設置工事 ⑪エアコンAC交換 ⑫サイエンスパーククラック補修工事 ⑬キャッシュレス対応改修費 ⑭事務用PC修繕 ⑮事務所内内窓修繕工事 ⑯プラネタリウム内改修工事 ⑰プラネタリウム内手すり設置工事 ⑱ドーム内管理照明改修工事	浜松市所管課に報告の上、指定管理者実施修理等 18件
損傷・破損	7件	①サイエンスパーク内コーン破損 ②屋外展示パネル破損 ③デッキ部にサイエンス農園の土が散乱 ④天のりバー歩道上にクラック ⑤プラネタリウムドーム内配管亀裂 ⑥サイエンスパーククローン桜の損傷 ⑦サイエンスパーク内遊具床板腐食	①②③⑥⑦ 浜松市に報告 ④⑤ 浜松市に報告後、修繕

6. 事故・苦情等の対応状況

区分	件数	内容	対応状況
事故・事件	10件	①騒音・器物破損 6件 ②放置自転車 2件5台 ③拾得物処理 ④エレベーター閉じ込め	①～③所管警察署に届け出 ④浜松市に報告し、館内にてスタッフ教育を実施
意見・苦情等	1件	①夜間サイエンスパーク内遊具の使用に係る近隣からの苦情	①警察署に相談し夜間巡回の強化等を依頼、防犯対策工事を実施

V 施設貸出

(1) 業務概要

浜松市スポーツ・文化予約システム（まつぼっくり）による施設の利用申請を受付け、利用許可を行い、利用料金を徴収しました。

(2) 貸室料金等

① 利用可能時間

9:30 から 21:30 までを貸出時間とします。（準備、片付け、原状復帰の時間も含む）

② 対象施設と利用料金（消費税及び地方消費税額含む）

対象施設	利用区分		9:30～10:00 及び 21:00～21:30	10:00～21:00 1時間につき
ホール	教育関係団体	入場料徴収なし	470円	940円
		入場料徴収あり	940円	1,880円
	その他	入場料徴収なし	940円	1,880円
		入場料徴収あり	1,880円	3,770円
セミナールーム A	教育関係団体	入場料徴収なし	160円	320円
		入場料徴収あり	320円	640円
	その他	入場料徴収なし	320円	640円
		入場料徴収あり	640円	1,290円
セミナールーム B	教育関係団体	入場料徴収なし	160円	320円
		入場料徴収あり	320円	640円
	その他	入場料徴収なし	320円	640円
		入場料徴収あり	640円	1,290円

※椅子や机等の備品の貸出の他、音響、照明、冷暖房装置等の備品は有料での貸出を行います。

(3) 貸出実績

施設区分	利用団体区分	件数	利用者数	利用料金
ホール	教育	12団体	839人	49,080円
	一般	10団体	580人	87,269円
	手帳・高齢	0団体	0人	0円
	事業	2団体	235人	0円
	計	24団体	1,654人	136,349円
セミナールーム	教育	3団体	7人	2,240円
	一般	7団体	97人	15,080円
	手帳・高齢	0団体	0人	0円
	事業	0団体	0人	0円
	計	10団体	104人	17,320円
合計		34団体	1,758人	153,669円

VI 収支報告

1 収入

(単位：円)

区分	内 訳	予 算	決算額	執行率	差 引
(A) 収入合計 (税込み)		210,351,189	190,886,914	90.7%	19,464,275
1 指定管理業務委託料	指定管理料：140,710,900円 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う指定管理者交付金：283,730円 プラネタリウム休止補償：10,114,995円	151,109,625	151,109,625	100.0%	0
2 利用料金		58,241,564	38,418,619	66.0%	19,822,945
入場料・観覧料等	常設展示・プラネタリウム等観覧料	53,141,564	35,795,250	67.4%	17,346,314
特別展・企画展参加費	夏・春の特別イベント参加料	3,000,000	553,800	18.5%	2,446,200
貸館使用料	ホール、セミナールーム貸室料	150,000	153,669	102.4%	△ 3,669
その他収入 (受益者負担金)	情報端末貸出料	5,000	1,400	28.0%	3,600
	みらいーらカード発行料	50,000	153,900	307.8%	△ 103,900
	参加費・材料費	1,895,000	1,760,600	92.9%	134,400
3 補助金、協賛金等		1,000,000	1,358,670	135.9%	△ 358,670

2 支出

(単位：円)

区分	内 訳	予 算	決算額	執行率	差 引
(B) 支出合計		199,952,464	203,688,829	101.9%	△ 3,736,365
1 事業運営業務費		19,421,000	15,799,632	81.4%	3,621,368
常設展示運営費	保守点検、管理経費等	3,000,000	1,489,895	49.7%	1,510,105
プラネタリウム運営費	番組制作・借上料、保守点検、管理経費等	8,321,000	6,497,387	78.1%	1,823,613
特別展・企画展運営費	企画料、製作費等	4,500,000	4,787,786	106.4%	△ 287,786
教育普及事業費	ミニワーク、サイエンスショー材料費等	3,600,000	3,024,564	84.0%	575,436
2 広報業務費		5,400,000	5,211,295	96.5%	188,705
広報費、印刷費	広告媒体費、宣材印刷費等	5,400,000	5,211,295	96.5%	188,705
3 施設運営業務費		129,444,998	133,423,369	103.1%	△ 3,978,371
管理運営人件費	常勤・臨時職員給与等	120,600,000	121,338,986	100.6%	△ 738,986
運営事務費	旅費、消耗品、事務機器等借上料、保険料等	8,844,998	12,084,383	136.6%	△ 3,239,385
4 施設維持管理業務費		36,149,920	39,562,533	109.4%	△ 3,412,613
維持管理業務委託費	清掃、設備管理、保守点検等委託料	33,942,360	34,242,865	100.9%	△ 300,505
その他施設管理費	安全管理、修繕料等	2,207,560	5,319,668	241.0%	△ 3,112,108
光熱水費		0	0	0.0%	0
5 公租公課		15,000	0	0.0%	15,000
公租公課	消費税、法人事業税等	15,000	0	0.0%	15,000
6 一般管理費		9,521,546	9,692,000	101.8%	△ 170,454
一般管理費	バックオフィス事務経費等	9,521,546	9,692,000	101.8%	△ 170,454
収支 (千円) (A) - (B)		10,398,725	△ 12,801,915	—	—

Ⅶ 自主事業

1. 必須の自主事業

(1) ミュージアムショップ

① 事業方針

事業活動と一体的に企画・運営し、利用者の科学への興味関心を高めるとともに、帰宅後にさらに学びを深めることを支援する商品を選定、販売を行いました。

② 概要

営業日数	開館日と同じ
営業時間	11:00～17:00（夏季休暇期間は18:00まで） 土日祝日及び長期休暇期間は9:30 オープン 毎月第3金曜日「夜の科学館」開催日は終了時刻まで

④ 実施業務

事業と連動し、来館者の能動的な学びを支援するグッズや地元浜松の企業関連製品を販売し、来館の記念になるようなオリジナル商品を開発しました。特に、企画展関連の商品を企画・販売し、多くの方に購入していただきました。

また、昨年同様、地元企業と連携し、静岡県繊維協会や浜松の手作り作家の商品を販売する「浜松マーケット」のほか、浜松の企業の商品を期間限定で販売する「ポップアップストア」を開催しました。

業 務	内 容
グッズ販売	① 常設展示のテーマ（光、力、音、自然、宇宙）やプラネタリウムに関連した教材、実験・工作材料、書籍、文具などのグッズ販売 ② 企画展のテーマに関連した書籍、工作キット、教材などのグッズ販売 ③ 実験・工作のキットや道具、材料等の販売
浜松マーケット	手作り作家の商品 （アクセサリ・布小物・紙けん玉 等） ※夏の企画展「身近で気になる昆虫展」に合わせ、昆虫・自然をテーマに製作されている方々に販売をお願いしました。
ポップアップストア	① PUKUPUKU 工房 （プロレスマスク生地のマスクの販売） ② ハマニ化成株式会社 （ピアノブラック技術をいかした、アクリルティッシュカバー 等） ③ 株式会社 ROKI（マスク 纏）

④ メニュー

各事業者が地域の食材を利用し、科学館の客層に合わせて工夫したメニューを提供しました。



事業者	主なメニュー
Sense Of Wonder	発酵玄米のカレー、リトラスティー
Good Luck Café	地場野菜のホットドック、スムージー
長坂養蜂場	はちみつソフトクリーム、はちみつプリン
Coco-Rin	有機食材のお弁当、豆腐マフィン
NAKATAJIMART	野菜や芋のサンドウィッチ、浜名湖海苔うどん

(3) 自動販売機

利用者へのサービスのために、館内 1F に 2 台、2F に 3 台、サイエンスパークに 1 台設置しています。

2. 任意の自主事業

① キッチンカーのフードサービス

サイエンスパーク内に専用エリアを設け、浜松市公有財産管理規則（昭和 39 年規則第 30 号）第 9 条の規定に基づき、行政財産の使用許可を得て、キッチンカーのフードサービスを計画しましたが、2021 年度は COVID-19 感染拡大の影響によりキッチンカーの誘致を見合わせました。

② プリントシール機の設置

2020 年 8 月からミュージアムショップ横に設置し、利用者の来館記念撮影の他、年間パスポート用写真撮影に活用しています。

3. 自主事業の収支

(単位：円)

区分	内容	金額(税込)	備考
収入	ショップ売上	11,092,108	
	カフェ自主営業売上	64,480	
	カフェ手数料	669,117	売上の5%及び行政財産目的外使用料
	キッチンカー販売手数料等※	0	今期は稼働なし
	飲料用自動販売機手数料	1,130,183	売上の34~35%
	プリントシール機	62,700	売上の20%
合計 A		13,018,588	
支出	行政財産目的外使用料	1,493,019	カフェ・ガチャ・ショップ・プリントシール機
	修繕費	95,700	ショップクレジットカード導入
	維持管理委託費	78,650	年間自動更新保守契約料(ショップ)
	商品仕入	7,500,905	買取商品仕入
	消耗品費・什器等備品費(ショップ)	32,530	ショップ消耗品
	消耗品費・什器等備品費(カフェ)	126,778	カフェ消耗品
	手数料	88,000	事務手数料
合計 B		9,415,582	
収支差引 A-B		3,603,006	

(注) 支出は、ショップの店舗運営に係る販売管理等の経費を除いたもの

※キッチンカーは COVID-19 感染拡大防止のため今年度中止

Ⅷ 資料

1. 2021年度科学館入館観覧者状況
2. 2021年度イベント・講座実施状況
3. 利用者アンケート調査集計結果
4. 浜松科学館と大学・企業との事業連携アンケート調査（評価）結果
5. メディア取材等一覧表

1. 2021年度科学館入館観覧者状況

(単位：円)

チケット区分			利用者数（人）	構成比	利用料金（円）	構成比	
個人	常設展	有料	大人	30,143	29.1%	18,085,800	51.5%
			中人	1,342	1.3%	402,600	1.1%
			計	31,485	30.4%	18,488,400	52.6%
		無料	大人	5,189	5.0%	0	0.0%
			中小人	33,831	32.6%	0	0.0%
			計	39,020	37.6%	0	0.0%
		合計	70,505	68.0%	18,488,400	52.6%	
	常設展+ プラネタリウ ム・大型映 像	有料	大人	14,383	13.9%	16,047,700	45.7%
			中人	724	0.7%	400,600	1.1%
			計	15,107	14.6%	16,448,300	46.8%
		無料	大人	3,266	3.1%	0	0.0%
			中小人	14,806	14.3%	0	0.0%
			計	18,072	17.4%	0	0.0%
	合計	33,179	32.0%	16,448,300	46.8%		
観覧券		1,541	—	347,250	—		
割引		—	—	△ 138,320	—		
A 個人合計			103,684	—	35,145,630	—	
団体	常設展	有料	大人	404	3.1%	219,540	75.4%
			中人	161	1.2%	37,920	13.0%
			計	565	4.4%	257,460	88.4%
		無料	大人	1,016	7.8%	0	0.0%
			中小人	9,028	69.6%	0	0.0%
			計	10,044	77.5%	0	0.0%
	合計	10,609	81.8%	257,460	88.4%		
	常設展+ プラネタリウ ム・大型映 像	有料	大人	1	0.01%	990	0.3%
			中人	73	0.6%	32,670	11.2%
			計	74	0.6%	33,660	11.6%
		無料	大人	208	1.6%	0	0.0%
			中小人	2,071	16.0%	0	0.0%
			計	2,279	17.6%	0	0.0%
	合計	2,353	18.2%	33,660	11.6%		
B 団体合計			12,962	—	291,120	—	
個人・団体合計(A+B)			116,646	—	35,436,750	—	
別納分			—	—	0	0	

2. 2021年度イベント・講座実施状況

開催日	種別	名称	参加人数	内容
4月 1.2.4.5.6.10.11. 18.25.29日	サイエンスラボ	超拡大ラボ	28	1組ずつスタッフとデジタルカメラ、電子顕微鏡を貸し切りにして持ち込んだ試料を観察した。6月に本企画の関連イベントとしてトークオブワnder、写真コンテストを実施した。 共催：浜松ロータリークラブ、浜松東ロータリークラブ 全10回
5月30日	サイエンスラボ	15分で科学実験大人編 ガラス細工「オランダの涙」	9	通常行っている、15分で実験シリーズを大人対象に行った。ガラス細工の1つである「オランダの涙」を作製した。また、その特徴の1つである粉碎実験もデモンストレーションとして実施した。
6月12日	サイエンスラボ	15分で科学実験 色が消える！ いたずらインクを作ろう	15	指示薬の性質を利用して、いたずら（布に青いインクをかける）しても、色が消えてしまうインクを作成した。作ったインクは持ち帰ってもらい、家庭でも実験してもらえるようにした。
6月27日	サイエンスラボ	15分で科学実験 お天気実験大集合！	18	圧力で雲を作る、夕日の原理を再現する、虹ピーズを用いて人工虹をつくる、という3つの実験を行った。虹ピーズは、お土産として家庭へも持ち帰ってもらった。
8月1日	サイエンスラボ	15分で科学実験 金・銀・銅の メダルをつくらう	48	合金の技術を使って、銅板を真鍮にする実験を行った。人気が高く、実施回数を2回分大きく増やして開催した。
8月15日	サイエンスラボ	15分で科学実験 薬品でつくる リンゴとバナナの香り	21	イソamilアルコールや酢酸を混合し、バナナやリンゴの香りを化学的手法で再現した。科学館でしか体験できない実験におおいに、盛り上がった。
8月22日	サイエンスラボ	15分で科学実験 水が0℃で凍らない？ 過冷却	15	参加者自ら過冷却水を作り、凝固する瞬間を観察した。また、自由研究としても活用できるようにした。
9月12日	サイエンスラボ	15分で自然観察 じっくり観察 煮干しのからだ	11	煮干しを教材として、人体模型を使ったヒトとの比較や、魚類ならではの器官の観察を行った。
9月19日	サイエンスラボ	15分で科学実験 見えない文字をあぶりだせ！	13	昔ながらのあぶり出しをより簡単に安全に行い、液によってあぶり出しの様子が違うことを実験した。
12月12日	サイエンスラボ	15分で科学実験 手作りスピーカー	19	コイルと磁石で簡単に出来るスピーカーを作成した。完成品をタブレットやスマホにつなぎ楽しんでいた。サウンドデザインフェスティバルの関連イベントとして実施。
12月19日	サイエンスラボ	15分で科学実験 化学反応で絵を描こう	7	イオン化傾向による腐食作用を利用して、アルミ板にエッチングを行った。各回5組ずつではあるが、1組が複数枚（4人であれば4枚）作成できるようにした。
1月23日	サイエンスラボ	15分で科学実験 何度も使えるカイロを作ろう	12	酢酸ナトリウムを用い、繰り返し使える化学カイロ作りを行った。
1月30日	サイエンスラボ	15分で自然観察 ひつつき虫がひつつくワケ	5	ひつつき性質のある植物の種子を双眼実態顕微鏡で観察し、表面の構造をスケッチした。マジックテープのモデルとなったことを説明し、バイオミメティクスの理解を深めた。
2月6日	サイエンスラボ	15分で科学実験 高吸水性ポリマーで芳香剤を作ろう	5	紙おむつや保冷剤など、身近な生活用品に使用されている高吸水ポリマーの仕組みを、実験を交えながら解説した。成果物として高吸水性ポリマーを使用した芳香剤を作成した。
3月13日	サイエンスラボ	15分で科学実験 磁石の磁力をみてみよう	9	水とモールが入ったペットボトルへ磁石を近づけることで、目には見えない磁力の分布をモールの動きで可視化する実験を行った。学校で習う内容を発展させた教材を提供することができた。
3月27日	サイエンスラボ	15分で自然観察 ツクンの胞子はクネクネ動く	11	ツクンの胞子を生物顕微鏡で観察した。蒸気をあてると胞子から出る糸状の構造がクネクネと動く。その生態的な意義を考察しつつ、胞子の面白い動きを楽しんだ。
サイエンスラボイベント 計			246	
7月23日	サイエンスショー イベント	とっておきの科学実験でスポーツのヒミツ を解き明かせ	300	うえちゃん・天玲美音のコラボサイエンスショー 元宝塚女優の天玲氏と上野のコラボサイエンスショーを企画、実施した。スポーツの日に合わせ、スポーツに関連した科学現象（空気抵抗、回転など）を実験で紹介した。
8月16日	サイエンスショー イベント	東京2020パラリンピック採火リレー 採 火サイエンスショー	20	「浜松・可能性の火」 浜松の文化や産業をテーマに、火打石、バイオエタノール、圧気発火、青色LEDによる発火実験を行った。
11月20日、21 日、23日	サイエンスショー イベント	特別サイエンスショー 「エコでえーことしまSHOW第3弾」	502	3年目の今年は、ごみの分別をテーマに、クイズと実験を織り交ぜた内容でサイエンスショーを行った。
12月11日	サイエンスショー イベント	特別サイエンスショー たたく、はじく、こする、ん？	130	講師：伊藤尚未氏（メディアアーティスト） 講師による手作り楽器を使った音に関するサイエンスショーを行った。サウンドデザインフェスティバル関連イベントとして実施。
サイエンスショーイベント 計			952	

開催日	種別	名称	参加人数	内容
4月3日	その他	浜名湖花フェスタ2021	374	はままつフラワーパークへ出張し、科学館のPRを行いながら来場者に生物顕微鏡を用いたタンポポとスギの花粉を観察してもらった。
5月2日～5日	その他	みらいーら ロボットまつり	610	「ロボットダンスステージ」 ロボットによるダンスステージを開催した。プログラムされた9体のロボットが音楽に合わせて踊る姿は圧巻であった。ロボットまつりの講師は、いずれもロボットゆうえんち岡本正行氏。
5月2日～5日	その他	みらいーら ロボットまつり	401	「体験操縦サッカー」 ロボットを操縦して、ボールを蹴り、ゴールを決めるという操縦体験を行った。講師が操縦方法を丁寧に説明し、小さな子どもでも楽しんで体験できるものであった。
5月2日～5日	その他	みらいーら ロボットまつり	141	「パイロボコンタイムアタック」 配管の点検用に開発されたロボットを操縦し、専用コースを走破するタイムアタックを行った。レースをしながら、ロボットの基礎の動きをしっかりと学べるものとなっていた。記録更新を目指し、毎日参加する方も数名おり、大いに盛り上がった。 提供：一般社団法人パイロボット普及協会
5月2日～5日	その他	みらいーら ロボットまつり	—	「ロボット展示」 コミュニケーションロボットを中心に7体を展示した。特に、ATOMは人気が高く、注目を集めていた。
5月23日、26日	その他	トークオブワnder 「皆既月食のしくみ」	35	5月26日、約3年ぶりに日本で見られた「皆既月食」。月食中の月の色や見え方など、その仕組みを天文スタッフが解説した。1日3回、各回15分。23日：14名、26日：21名参加
6月5日～27日	その他	超拡大ラボ写真コンテスト	—	4月に行った超拡大ラボの参加者の成果をパネルにまとめ、1階常設展示エリアに掲示し、多くの来館者に周知した。
6月9日、10日	その他	生涯学習施設職員及びボランティアのための実技研修会	95	協働センター職員、ボランティアに向けた研修会を行った。身近なものを使った実験工作を6種類紹介し、実習を行った。講座後、問い合わせも多く寄せられた。 講師：サイエンスチーム 上野
6月19日、20日	その他	トークオブワnder 「これはなんの拡大写真!？」	73	4月に開催した超拡大ラボで撮影された電子顕微鏡写真をクイズ形式で紹介した。19日には同イベントの写真コンテストの表彰式を開催した。
7月20日～31日	その他	身近な昆虫を超拡大	68	昆虫展の関連イベントとして、身近な昆虫を電子顕微鏡で観察し、拡大することで分かる昆虫の秘密を探索した。 11回実施。 協力：山崎自然科学教育振興会
7月24日、25日	その他	身近な昆虫採集体験	120	虫取り網、虫かごを貸し出し、サイエンスパークおよび自然観察園で昆虫を採集した。昆虫は図鑑で同定し、日常生活で出会う昆虫との距離を縮めた。
7月30日、31日	その他	パイロボコン タイムアタック	141	配管の点検用に開発されたロボットを操縦し、専用コースを走破するタイムアタックを行った。レースをしながら、ロボットの基礎の動きをしっかりと学べるものであった。好記録を連発し、日本一の記録も更新した。 提供：一般社団法人パイロボット普及協会 講師：ロボットゆうえんち 岡本正行氏
7月30日、31日	その他	体験操縦サッカー	129	ロボットを操縦して、ボールをけり、ゴールを決めるという操縦体験を行った。講師が丁寧に指導し、小さな子どもでも楽しんで体験出来るものであった。 講師：ロボットゆうえんち 岡本正行氏
8月1日～31日	その他	身近な昆虫を超拡大	128	昆虫展の関連イベントとして、身近な昆虫を電子顕微鏡で観察し、拡大することで分かる昆虫の秘密を探索した。8月に29回実施。
8月1日	その他	パイロボコン タイムアタック	54	配管の点検用に開発されたロボットを操縦し、専用コースを走らせる催し。ロボットの仕組みを考えて操縦することが参加者の学びにつながった。
8月1日	その他	体験操縦サッカー	78	二足ロボットの歩行やキックなどの動作を操縦する体験を行った。未就学児でも楽しめるよう、講師が丁寧に指導した。
8月7日～9日	その他	化石探し体験	500	出口ゲート付近、中2階を会場に、数十万年前の岩石を割り、落ち葉や昆虫の化石を探す体験を提供した。
9月23日～26日	その他	第2回浜松市小・中学生 発明くふうコンテスト	867	夏休みに子どもたちが取り組んだ発明工作作品をホールに展示し、多くの来館者に見て頂いた。 共催：浜松経済クラブ
10月2日	その他	おもしろエンジンラボ 電動アシスト乗り物 試乗会	60	屋外で電動アシスト機能付きの自転車および車いすの試乗会を実施し、地元企業の技術力を体感した。

開催日	種別	名称	参加人数	内容
10月9日、10日	その他	パイロボコン タイムアタック	119	配管の点検用に開発されたロボットを操縦し、専用コースを走らせる催し。ロボットの仕組みを 考えて操縦することが参加者の学びにつながった。
10月9日、10日	その他	体験操縦サッカー	79	二足ロボットの歩行やキックなどの動作を操縦する体験を提供した。末就学児でも楽しめるよ う、講師が丁寧に指導した。 講師：ロボットゆうえんち 岡本正行氏
10月15日	その他	大人のための月観望会	24	屋上にて、天体望遠鏡を使用し、月の観望を行った。
10月16日、17日	その他	身近な昆虫採集体験	103	虫取り網・虫かごを貸し出し、サイエンスパークや自然観察園で昆虫採集を行ってもらった。ま た、捕まえた昆虫の同定のためにライブラリーを受付場所とした。身近にも多くの昆虫があるこ とを伝えることができた。
11月6日、7日	その他	熱で姿を変えられる！？ プラスチック加工	233	ペットボトルを利用したビーズ作りや、フリス素材の作成実験(演示)、3Dプリンタの実演を行 い、プラスチックの加工について紹介した。
11月13日、14日	その他	トークオブワnder 映画「となりのトトロ」で生き物観察	123	映画に登場する生き物やそれらの生態的役割、進化の道筋などを楽しく分かりやすく伝えた。 「『となりのトトロ』をもう一度観てみたい」という感想をいただいた。
11月19日	その他	大人のための月観望会	34	屋上にて天体望遠鏡を使用し、部分月の観望を行った。 ①18:00(12人) ②18:30(11人) ③19:00(11人)
11月 20日、21日、23 日	その他	ごみ減量・3Rフェスタ 特別ワークショップ「牛乳パックから紙を 作るう」	235	牛乳パックを再利用した紙漉き体験を行った。また、体験だけではなく、身近な例としてトイレト ペーパーに使われていることなどの解説も加えた。
11月26日～30日	その他	綿花の種取り実演	-	サイエンス農園で育てた綿花の種を取る作業を自然ゾーンにて実演した。綿花の採取から糸に なるまでを紹介したパネルを設置し、来館者へ説明した。
11月28日	その他	15分で展示実験 びっくりLED 青→白！白色LEDのしくみ	11	みらいーらテーブルでの実験や工作と、展示を用いた実験を組み合わせる新しいスタイルの催 し。青色LEDに黄色を合わせると白くなることを実験し、びっくりLEDで確認した。
12月5日	その他	15分で展示実験 電磁誘導テーブル 金属が磁石になる瞬間	14	展示と工作を組み合わせた新しいスタイルの催し。みらいーらテーブルにて簡単な実験道具をつ くり、電磁誘導テーブルを使って実験を行った。
12月17日	その他	Mitaka操作体験 (大人のための月観望会代替プログラ ム)	8	天候不良のため月観望会を中止し、1Fエントランスにて国立天文台の宇宙シミュレーションソ フトMitakaの体験会を実施した。
12月25日～ 3月31日	その他	さがしてためして みらいーら	968	ゲームブックの流れに沿って5つの問題を解いていくなかで、観察や実験を行うことを促す仕掛 けになっている。常設展をより楽しんでもらうための親子向けのツール。冊子には中2階のゆめたま ごで販売。(1冊100円)12月143人、1月258人、2月163人、3月404人
12月25日、26日	その他	105歩で生き物観察 (落ち葉編)	25	自然観察園で落ち葉を採集し、色・形・手触りで種を同定し、樹木の図録を作成した。
1月3日～10日	その他	昔あそび広場	1,048	けん玉、コマ、すごろくなど7種類の昔あそびを親子で体験できる企画を行った。多くの親子が楽 しそうに挑戦していた。(※参加人数は常設展入場者数の30%として算出)
1月10日	その他	新春！けん玉ショー	170	講師：けん玉お兄さん・ホームランイチロウ氏 昔あそび広場に合わせて、けん玉パフォーマンスを招いて、けん玉ショーを行った。また、ショーの前 後には、けん玉やコマを来館者に直接指導していただいた。
1月16日	その他	105歩で生き物観察	43	屋内で擬態の意味を講義した後、自然観察園で昆虫が隠れる場所や植物について観察会を行 った。
1月30日～	その他	ゾーンライブラリー設置	-	博物館実習で司書資格をもつ方を受け入れたことをきっかけに、常設展の各ゾーンに数冊ずつ 関連図書を設置した。展示テーマについての興味喚起につなげる狙いがある。
2月20日	その他	親子でバードウォッチング！	14	屋内で双眼鏡の使い方を練習した後、馬込川へ移動し、バードウォッチングを行った。カワセミ、 イソヒヨドリをはじめ、計19種の野鳥を観察した。
2月23日	その他	火起こしに挑戦！	100	サイエンスパークにて、火起こし体験を行った。道具は、まいきり式火起こし器、ファイヤースタ ーター、火打ち石を使用。それぞれの発火方法について科学的に解説を行った。最近のキャン プームもあり、多くの方にご参加いただいた。
その他イベント 計			7,225	

開催日	種別	名称	参加人数	内容
5月6日、20日	教育機関連携	ルネサンス・ベッタアカデミー講義	34	トークオブウンダー『映画「かぐや姫の物語」に登場するのは何ザラ?』を紹介しながらイベント企画についてレクチャーした。
6月24日	教育機関連携	科学館学習（市内小学校）	60	浜松市立東小学校の児童より、科学館に対する疑問、質問に答える機会を設けた。事前に子ども達が様々な質問を考えてから科学館へ来館し、学習するもので「科学館はいつできた」「好きな実験は」「どんな人が働いているの」など素直で楽しいものが多く寄せられた。
6月29日	教育機関連携	出張プログラム	46	大瀬小学校 1年生 体育館にて、シャボン玉のサイエンスショーを行った。
7月1日	教育機関連携	出張プログラム	35	与進北小 4年生～6年生 理科室にて、科学クラブ対象に「色変わり」「燃焼」「空気」のサイエンスショーを行った。
8月5日、6日 8月25日、26日	教育機関連携	教員社会体験研修	2	（磐田市立長野小学校、静岡県立袋井特別支援学校） 教員の社会教育体験の受け入れを行い、当館で研修を行った。実習内容は以下の通り 各部署の見学、ミニワークの補助や工作準備、ショップと地域連携、指定管理者制度についての講義、企画展受付など
8月1日	教育機関連携	職業インタビュー	1	湖西市立白須賀中学校 職業インタビュー対応 中学校からの依頼を受け、プラネタリウム解説員に関心のある生徒からの質問に対応した。（天文チーム）
8月17日	教育機関連携	磐田南高校生物部研修支援	2	当館の電子顕微鏡を用い、ヒョウモンカゲモドキ及びオトカゲの脱皮殻の観察を行った。
9月11日～23日	教育機関連携	理科自由研究作品展	1,809	理科自由研究作品展 夏休みに子どもたちが取り組んだ自由研究作品をホールに展示し、多くの来館者に見ていただいた。 共催：浜松市教育研究会理科研究部
9月14日	教育機関連携	出張プログラム	36	葵が丘小学校 1年生～6年生 36名 発達支援学級の児童を対象に、液体窒素を使ったサイエンスショーを行った。
9月14日～26日	教育機関連携	博物館実習	4	（中央大学1名、名城大学1名、帝京科学大学1名、東京都市大学1名） プラネタリウム研修、アテンダント研修、サイエンスショー研修など学芸員資格取得に必要な実習を行った。成果発表として、磁石を使った科学工作ワークショップの立案、準備、運営を行い、2日で約100人の来館者に体験してもらった。
10月20日	教育機関連携	出張プログラム	64	都田南小学校 2年生 都田総合公園にて、主にバッタ目を対象とした昆虫採集を行った。採集した昆虫を観察して、昆虫のからだの仕組みを学んだ。
10月	教育機関連携	教材貸出	63	10月14日～28日 静岡大学教育学部附属浜松小学校 「天竜川の石」 10月25日～1月30日 北杜市オムラサキセンター 「モルフォガター」
11月	教育機関連携	職場体験	16	①11/2 浜松学院中学校 1名 ②11/11、12 雄踏中学校 10名 ③11/11、12 富塚中学校 5名
11月2日	教育機関連携	出張プログラム	21	葵が丘小学校 特別支援学級（天文学習） プロジェクターを使用して当日の夜に見ることができる星空案内等を行った。
11月4日	教育機関連携	出張プログラム	40	大瀬小学校（天文学習） 先方からの要望により、来館された小学4年生向けに学習指導要領に則った星空解説を行った。
11月5日	教育機関連携	出張プログラム	50	小学校（天文台とのアウトリーチ） 浜松市天文台による天体観望会の前に星の探し方や宇宙クイズ、ソフトウェアMitakaでの宇宙旅行体験などを行った。
11月12日	教育機関連携	出張プログラム	50	春野図書館（天文台とのアウトリーチ） 星の探し方や宇宙クイズ、ソフトウェアMitakaでの宇宙旅行体験などを行った後、浜松市天文台による天体観望会を行った。
11月19日	教育機関連携	出張プログラム	30	積志中学校萩原分校 中学1年から3年の生徒を対象に、「燃焼」のサイエンスショーを行った。
11月	教育機関連携	教材貸出	—	星槎国際高等学校 浜松学習センター 11/10～17「天竜川の岩石標本一式」
12月16日、17日	教育機関連携	プロスペラ学院ビジネス専門学校 講義	390	館内の見学の前に15分間のミニ講義を計4回行った。内容は「ミュージアムから見るDX」について。計4回

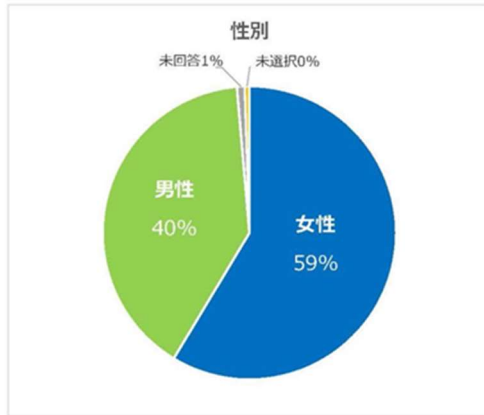
開催日	種別	名称	参加人数	内容
1月14日～20日	教育機関連携	博物館実習	1	(八洲学園大学 1名) 学芸員資格取得に必要な実習を行った。今回の実習生は普段、舞阪図書館に認定司書として勤務されているため、特に図書館と科学館の連携について検討の場を設けるなど、専門性を考慮した実習となった。今後、両館で連携企画を行っていく予定。
2月6日	教育機関連携	擬態昆虫観察会(講師派遣)	20	※講師派遣(サイエンスチーム 小粥) 北杜市オオムラサキセンターにて、擬態の生態的意味を屋内で講義した後、野外にて擬態昆虫4種を実際に探しながら観察した。 主催：北杜市立オオムラサキセンター
2月22日	教育機関連携	出張プログラム	64	豊西小学校 6年生 64人 液体窒素のサイエンスショーを実施。ショーの途中に、生徒の体験を取り入れたプログラムを提供した。
2月27日～28日	教育機関連携	みらいーら自由研究	—	みらいーら自由研究優秀賞を受賞した生徒の学校を訪問し、館長より賞状を手渡した。2名/10名(篠原小学校・新津小学校)
3月10日	教育機関連携	出張プログラム	70	静岡大学教育学部附属浜松小学校 4年生 70人 学校の要望に応え、4年生の理科で習う「空気」「状態変化」をテーマとしたショーを行った。
3月	教育機関連携	みらいーら自由研究	—	みらいーら自由研究優秀賞を受賞した生徒の学校を訪問し、館長より賞状を手渡した。3名/10名(広沢小学校、泉小学校、庄内中学校) 賞状の手渡しを辞退した学校を訪問し、賞状を届けた。5名/10名(曳馬小学校、北浜東小学校、西部中学校、南陽中学校)
教育機関連携事業 計			2,908	

イベント種別	人数
サイエンスラボイベント	246人
サイエンスショーイベント	952人
その他イベント	7,225人
教育機関連携事業	2,908人
合計	11,331人

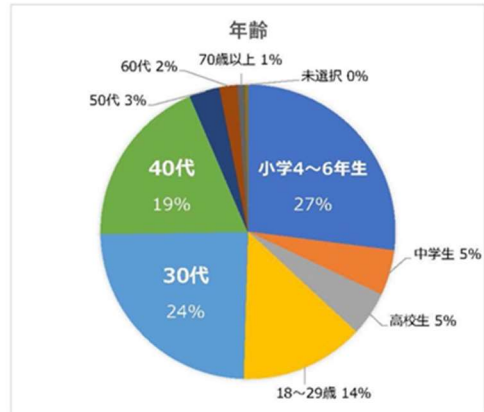
3. 利用者アンケート集計結果

(実施期間：2021年4月1日～2022年3月31日 回答数：1,165件)

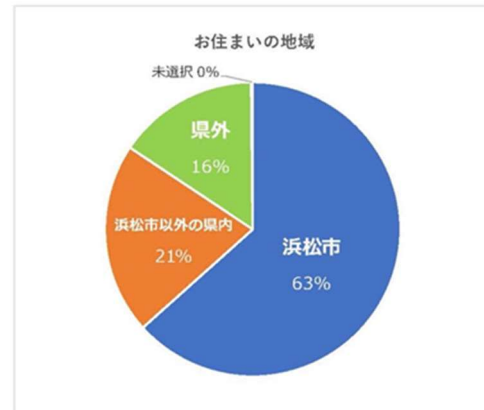
性別	人数
女性	683
男性	466
未回答	10
未選択	6



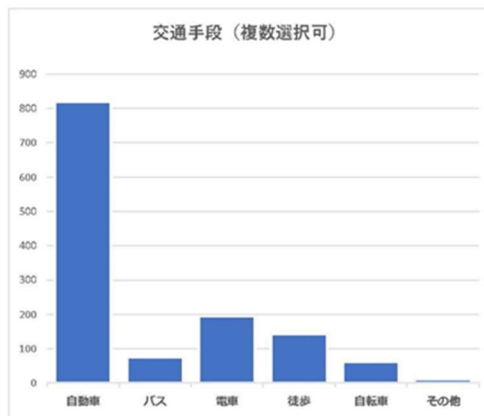
年齢	人数
小学4～6年生	315
中学生	58
高校生	57
18～29歳	158
30代	283
40代	219
50代	39
60代	23
70歳以上	10
未選択	3



お住まい	人数
浜松市	738
浜松市以外の県内	245
県外	180
未選択	2

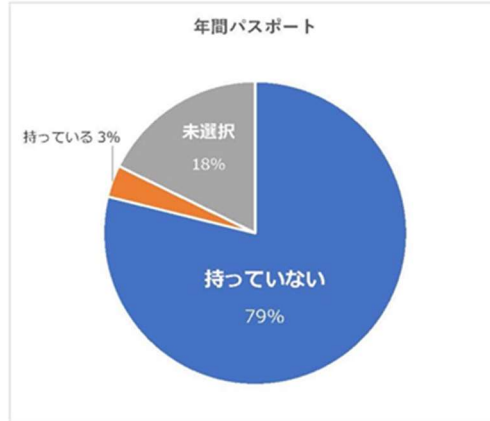


交通手段	人数
自動車	820
バス	75
電車	195
徒歩	142
自転車	62
その他	10

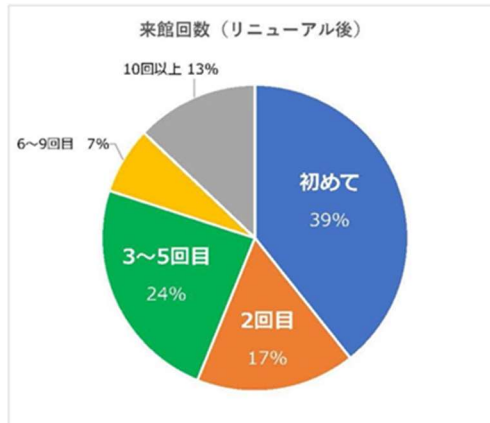


回答件数：265件

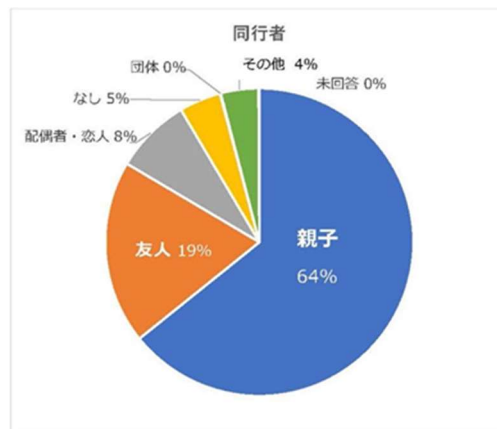
年間パスポート	人数
持っていない	209
持っている	9
未選択	47



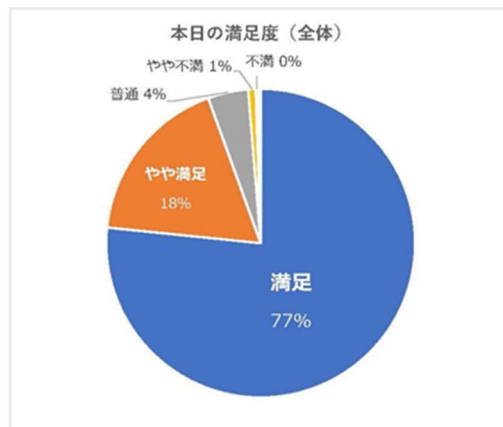
来館回数（リニューアル後）	人数
初めて	456
2回目	195
3～5回目	277
6～9回目	82
10回以上	150
未選択	5



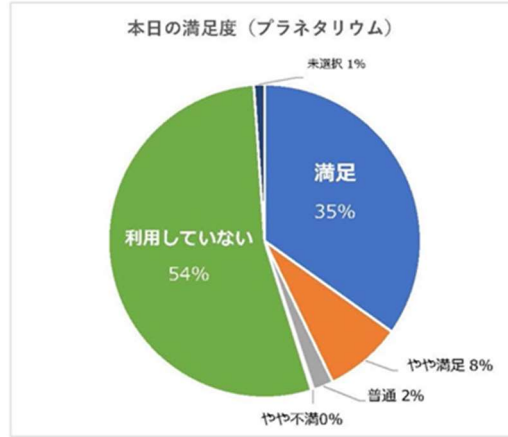
同行者	人数
親子	748
友人	225
配偶者・恋人	93
なし	51
団体	1
その他	46
未回答	1



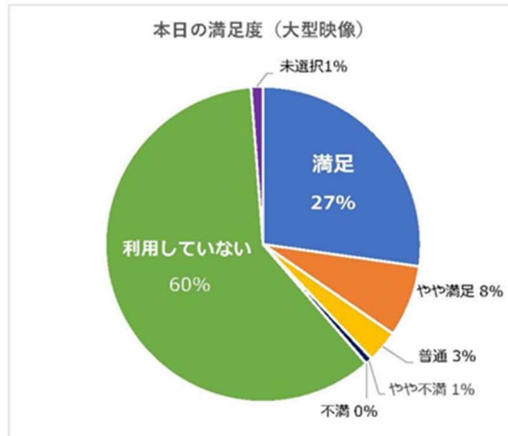
本日の満足度（全体）	人数
満足	888
やや満足	207
普通	49
やや不満	9
不満	3
利用していない	3
未回答	6



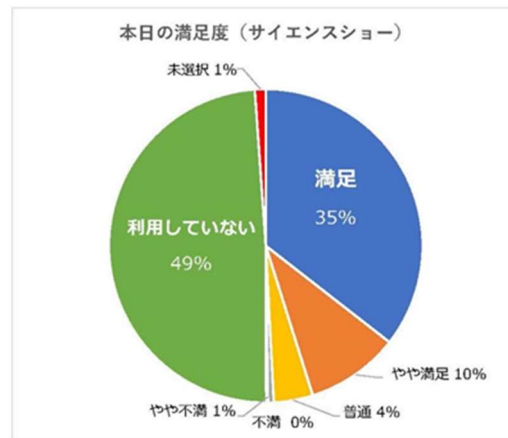
本日の満足度 (プラネタリウム)	人数
満足	284
やや満足	65
普通	17
やや不満	1
不満	1
利用していない	438
未選択	9



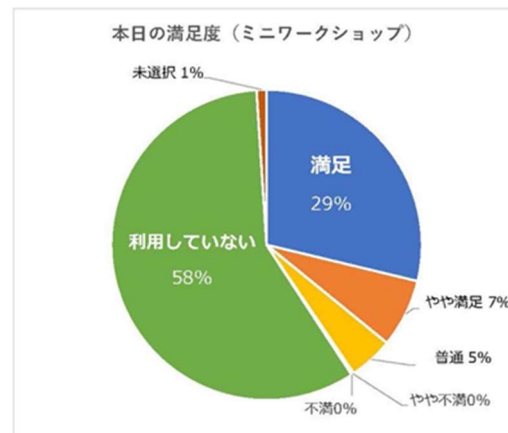
本日の満足度 (大型映像)	人数
満足	222
やや満足	60
普通	27
やや不満	6
不満	0
利用していない	490
未選択	10



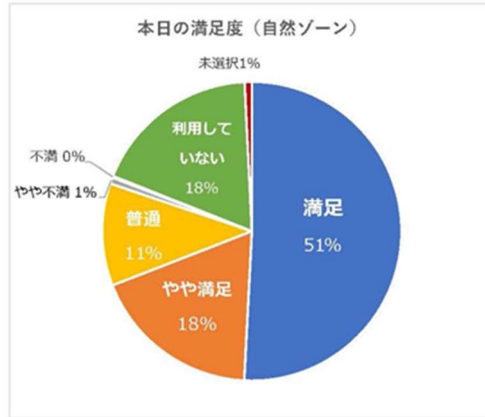
本日の満足度 (サイエンスショー)	人数
満足	414
やや満足	112
普通	47
やや不満	7
不満	2
利用していない	570
未選択	13



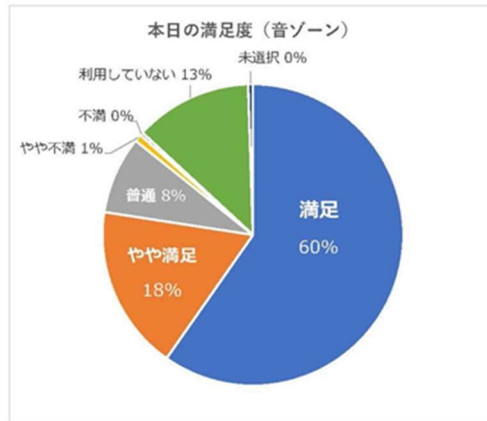
本日の満足度 (ミニワークショップ)	人数
満足	335
やや満足	83
普通	54
やや不満	2
不満	1
利用していない	678
未選択	12



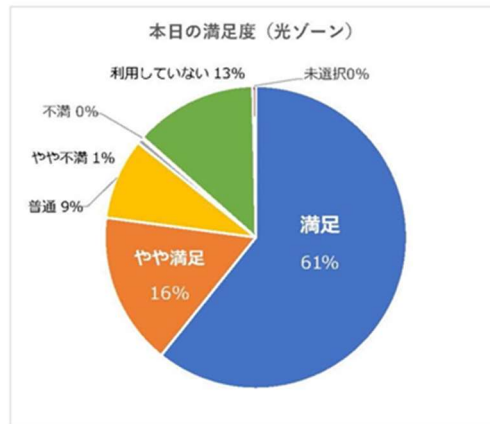
本日の満足度(自然ゾーン)	人数
満足	592
やや満足	213
普通	129
やや不満	8
不満	2
利用していない	212
未選択	9



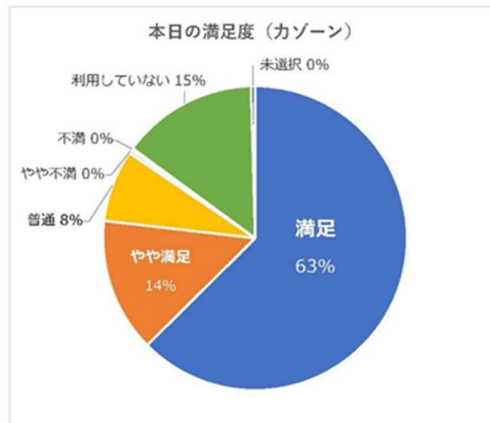
本日の満足度(音ゾーン)	人数
満足	696
やや満足	206
普通	97
やや不満	9
不満	4
利用していない	147
未選択	6



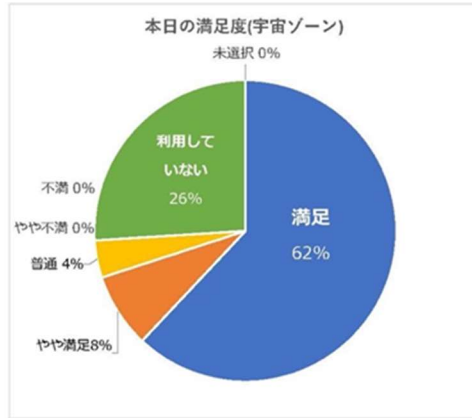
本日の満足度(光ゾーン)	人数
満足	708
やや満足	190
普通	101
やや不満	7
不満	2
利用していない	153
未選択	4



本日の満足度(カゾーン)	人数
満足	729
やや満足	166
普通	89
やや不満	5
不満	2
利用していない	169
未選択	5

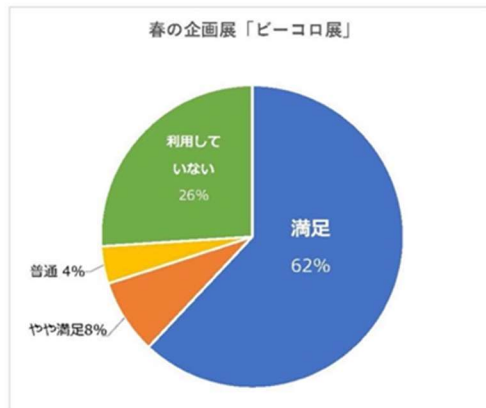


本日の満足度(宇宙ゾーン)	人数
満足	607
やや満足	177
普通	102
やや不満	10
不満	2
利用していない	261
未選択	6



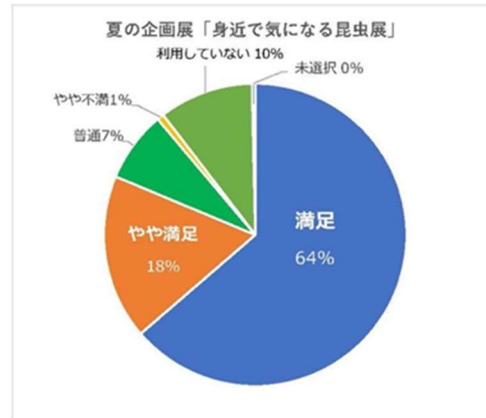
回答：50件

本日の満足度(春の企画展)	人数
満足	31
やや満足	4
普通	2
やや不満	0
不満	0
利用していない	13
未選択	0



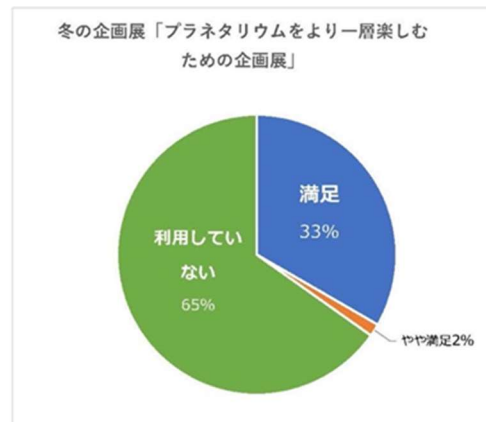
回答：308件

本日の満足度(夏の企画展)	人数
満足	177
やや満足	49
普通	21
やや不満	2
不満	0
利用していない	28
未選択	1



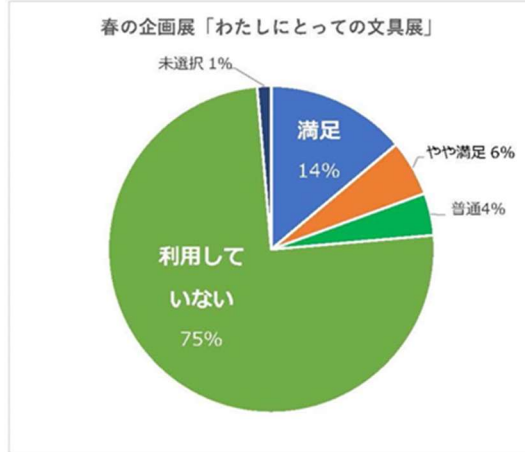
回答：69件

本日の満足度(宇宙ゾーン)	人数
満足	23
やや満足	1
普通	0
やや不満	0
不満	0
利用していない	45
未選択	0

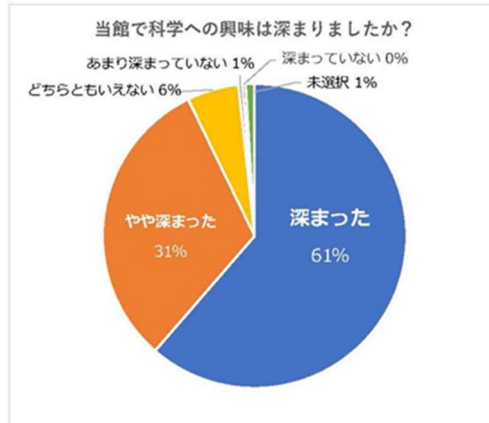


回答：72件

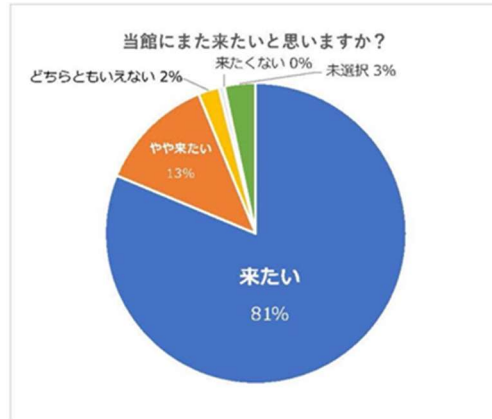
本日の満足度（春の企画展）	人数
満足	10
やや満足	4
普通	3
やや不満	0
不満	0
利用していない	54
未選択	1



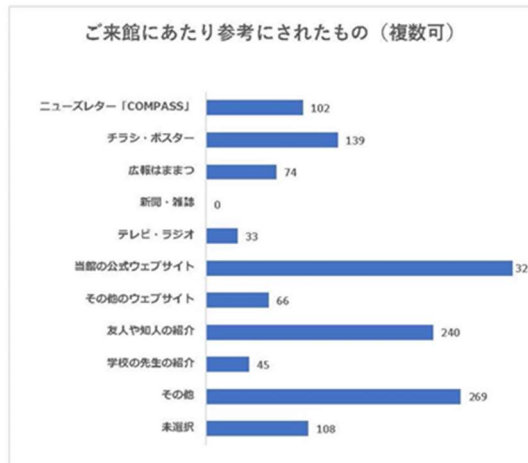
当館で科学への興味は深まりましたか？	人数
深まった	715
やや深まった	366
どちらともいえない	64
あまり深まっていない	5
深まっていない	4
未選択	11



当館にまた来たいと思いますか？	人数
来たい	947
やや来たい	146
どちらともいえない	26
あまり来たくない	6
来たくない	1
未選択	39



ご来館にあたり参考にされたもの（複数可）	人数
ニューズレター「COMPASS」	102
チラシ・ポスター	139
広報はままつ	74
新聞・雑誌	0
テレビ・ラジオ	33
当館の公式ウェブサイト	324
その他のウェブサイト	66
友人や知人の紹介	240
学校の先生の紹介	45
その他	269
未選択	108



本日最も印象に残った体験、展示など（自由記入）

- ・ビーコロ展（57件）
- ・身近で気になる昆虫展（58件）
- ・プラネタリウムをより一層楽しむための企画展（4件）
- ・わたしにとっての文具展（2件） ・プラネタリウム（82件） ・サイエンスショー（41件）
- ・ミニワークショップ（18件/スライム、青色LED、ステッカー、二重振り子人形など）
- ・自然ゾーン（14件/拡大写真、電子顕微鏡、環境ウォールなど）
- ・光ゾーン（39件/色当てチャレンジ、カラーミキサーなど）
- ・カゾーン（63件/バイクの基本、パワーアシストつなひき、クルマの基本と応用など）
- ・音ゾーン（35件/響きの変わる部屋、効果音をつくろう、電子楽器の世界など）
- ・宇宙ゾーン（17件/ロケットを飛ばそう、カミオカンデVRなど）
- ・その他（アクティブ展示解説、注染そめ体験、昔あそび広場など）

当館への意見やご要望（抜粋）

- ・スポーツをテーマにした、科学『どうしたらボールをカーブさせることができるか など』をやってほしいです！
- ・プラネタリウムに幼稚園児を連れて入りましたが、落ち着いて見れなかったです。内容に飽きたのか、もっと小さい子供が見れる物があると良いなと思いました。
- ・コロナが落ち着いたら参加型のショーや、講座付きのワークショップが開催されると嬉しいです。
- ・特別展があると何度来てもとても楽しめると思いました。
- ・謎解きをまたやりたいです。
- ・道順や階段の位置など、表示をわかりやすくしてほしい。
- ・ワークショップの種類を増やして欲しいです。
- ・定期的に入れ替わる展示があったら良い。
- ・体験できる内容に対して技術にパネルでの解説が欲しいと思いました。
- ・カフェをもっと充実させて、ランチも子供と食べられるようなメニューにして、一日楽しめるようにしてほしい。

当館への意見やご要望を踏まえた主な対応事例

- ・常設展の展示の示す科学の原理についての解説を含んだ問題冊子を作成し、それを解きながら展示を巡るイベント（さがしてためしてみらいーら）を開催しました。
- ・お客様が迷いやすい箇所に内製の掲示を加えるなど、できるだけ動線が分かりやすくなるよう心がけています。
- ・2022年3月からは、浜松市内の飲食業者とコラボレーションし、子供向きのメニューも工夫した「みらいーらカフェ」の営業を開始しました。

4. 浜松科学館と大学・企業等との事業連携アンケート調査(評価)結果

(1) 目的

浜松科学館が施設の使命・目的に基づいて、適正に管理運営しているかを検証し自己評価するためにセルフモニタリングを実施しています。その一環として、「価値創造に関する業務」における「連携先の評価」を行い、より望ましい事業連携を進めることとします。

- ① 大学・研究機関との連携事業 (目標：都市文化創造)
- ② 地域の価値創造事業 (目標：産業創造)
- ③ " (目標：観光創造)

(2) 実施先リスト

事業・催事名	実施期間	連携先(実施先)
第2回浜松小・中学生 発明くふうコンテスト	募集：7月1日(木)～8月27日(金) 審査会：9月23日(木・祝)	浜松経済クラブ
注染・ゆかたコレクション	7月17日(土)・18日(日)	(一社)静岡県繊維協会 (株)二橋染工場 浜松学芸中学校・高等学校
みらいーらスポーツ DAY	7月23日(金・スポーツの日) ※展示は25日(日)まで	XCUBE((株)アサヒトラスト) ペアトレリズム Lab. (株)クシタニ、メガバス(株) レワード(株)、pukupuku 工房、 (株)高柳喜一商店
電動アシスト乗り物 試乗会	10月2日(土)	ヤマハ発動機(株)社内ボランティア Gr おもしろエンジンラボ
やらまいかテクノロジーコーナー での企業・技術紹介	6月8日(火)～8月31日(火) 7月27日(火)～1月10日(月・祝) 9月9日(木)～1月10日(月・祝)	レワード(株) テイボー(株) エンケイ(株)
ワークショップ「ロケットペンを作ろう」	10月16日(土)・17日(日) 1月8日(土)・9日(日)	テイボー(株)
連携授業「浜松科学館のプラネタリウムを盛り上げる」	1月13日(木)	専門学校 浜松デザインカレッジ

(3) 調査項目

- ア. 浜松科学館と連携したことでどのような価値が得られたか
- イ. 浜松科学館と連携した感想
- ウ. 事業を実施する中での改善すべき点や課題
- エ. 今後浜松科学館と連携してできること(アイデア)

(4) 評価結果要約

目標	連携先	主な意見
① 都市文化 創造	専門学校 浜松デザインカ レッジ	異空間なプラネタリウムをテーマにした企画・デザインの立案は、学生たちにとって新鮮且つ実践的な体験となり、科学館職員に作品を評価してもらえ学生たちのやる気も向上した。今後も様々なテーマで連携していきたい。例えば、カフェメニューや特別展等の広報物などの企画・デザイン制作、作品審査、作品展開催など。
② 産業創造	浜松経済クラブ	発明くふうコンテストは多くの方々の協力があって成り立っている事業だと感じた。自分たちだけで出来ることが限られている中、科学館と連携して充実した事業が実施できた。未来ある子どもたちにこのコンテストの場が提供できたのは価値があること。今後は広報活動を強化して認知度を高め子どもたちの目標の場にしていきたい。さらに地元企業と連携すれば面白いものができると感じた。
	(一社)静岡県織 維協会	昨年度に引き続き科学館で開催し、来場者数も大幅に増え、浴衣のPRができて良かった。浴衣のPRはできたが、繊維業界としての最終目標は製品を購入してもらい、使ってもらうことにあるので、今後は需要拡大につながる事業も実施していきたい。今後、ソラモなど街中での販売イベント等とうまくコラボできればと思う。
	(株)二橋染工場	「浜松注染そめ」の体験を通し、多くの方に知ってもらうことができた。子どもを対象にした、普段とは異なる体験になったと思う。少人数・短時間にタイムスケジュールを改善すればもっと体験人数を増やせると思う。今後は、夏休み期間に自由研究等を目的とした体験も実施してみたい。
	(株)クシタニ	浜松で創業し70数年モーターサイクルの分野では老舗と言われる立ち位置にありながら、地元では企業としてまだ知られていないと認識している。科学館の催事に参加することで多くの方に見てもらえることができて良かった。モノづくりの企業として、モノを作ってみることが出来るショップづくりを目指しているので、今後も連携して「ものづくり」等の体験イベントが出来ると良い。
	メガバス(株)	浜松から世界のスポーツフィッシングに向けて、ものづくりをしている企業として、ルアーフィッシングに興味のない方や経験したことがない方にも広く知ってもらえる機会になった。今回展示したLBOシリーズなどは、釣り業界において科学という切り口でも紹介できると感じた。

目 標	連携先	主な意見
	レワード(株)	「みらいーらスポーツ DAY」やワゴン展示で、地元浜松で繊維を扱っているスポーツメーカーということをアピールできて、非常に良かった。東京オリンピックが開催された期間で、注目度も高かった。毎年「スポーツの日」はあるので恒例にして欲しい。縫製工場も敷地内にあり、ユニフォーム制作等も可能。
	ヤマハ発動機(株)	多くの小学生や保護者に、電動アシスト乗り物の価値と面白さを体験してもらえ、子どもたちに科学技術やものづくりへの興味を喚起させることができた。科学館で実施することで、不特定多数の子どもたちに参加する機会を与えることができる。コロナ禍でも屋外デッキを活用するなどしてイベントができることが分かった。今後は長引くコロナ禍での屋内イベント開催などを一緒に模索していきたい。
	テイボー(株)	(やらまいかテクノロジーコーナー展示) 一般の方に地元企業を知っていただく良い機会になった。自社の技術が子どもたちに興味を持って受け止めてもらえたことで自社の技術的な魅力を再認識できた。浜松科学館という子どもたちの教育の場に参加させてもらえ企業としての社会的責任を感じた。 (ワークショップ「ロケットペンを作ろう」) 展示同様、一般の方に地元企業や弊社の技術を知ってもらえる良い機会となった。今後は、関連する浜松の企業同士が連携してワークショップを開催できたら、子どもたちに喜んでもらえるイベントになるのではないかなと思う。
	エンケイ(株)	展示コーナーでクイズに答えていただく(web 回答)を実施したことで、地域の小学生などからコンタクトがあった。子どもにもわかりやすい説明パネルは「大人にもわかりやすく勉強になった」と言われた。実際にアルミホイールの軽さを体験してもらうことで、ホームページや SNS ではできないアピールができた。浜松を代表する数々の企業が展示協力をしている科学館に参加できてよかった。
③ 観光創造	浜松学芸中学校・高等学校	昨年に続き浴衣のイベントをデッキで実施し、生徒たちの普段の活動の成果を発表する機会になった。着替えや披露する場所など設備面も充実している。今後も科学創造コースの生徒たちの成果発表などを連携して実施できると思う。
	XCUBE((株)アサヒトラスト)	AR 技術の面白さを紹介する展示を初めて館外で実施し、多くの方に体験してもらうことができた。特にファミリー層が多く、その層に対しての反応や知名度の現状把握にもなった。アトラクションの自社開発等も進めているので、今後も共同で展示や催事ができると良いと思う。
	ペアトレリズム Lab.	「みらいーらスポーツ DAY」に参加し、いつもとは異なる客層と触れ合うことができた。館内のイベントの連動性を持たせ、回遊してもらおう仕掛けが欲しいと感じた。今後も子ども向けのスポーツイベントなどで連携できると良い。

5. メディア取材等一覧表

掲載(放送)	メディア名	詳細	取材内容
5月上旬	TOHOたより	2021春夏号	館全体
4月2日	ハマラボ		サイエンスショー
4月3日	静岡新聞		ビーコロ展
4月10日	FM Haro	はままつ案内所	生解説プラネ「月まで何キロ？」
4月22日	静岡新聞びぶれ		ロボットまつり
4月22日	静岡新聞びぶれ		生解説プラネ「月まで何キロ？」
4月9日	SBSラジオ		ビーコロ展
4月17日	中日新聞		ビーコロ展
5月18日	ハマラボ		天文台など
5月8日	FM Haro	はままつ案内所	天文台など
8月15日	日本テレビ	世界の果てまでイッテQ	音ゾーンなど
5月1日	NHK	ウィークエンド中部	ビーコロ展など
4月29日	SBSテレビ	ORANGE	ビーコロ展、サイエンスショー
5月9日	静岡新聞	YOMOっと静岡	スタッフ図鑑(大堂さん)
6月1日~10日	浜松ケーブルテレビ		常設展、ビーコロ展
5月4日	静岡新聞		ブックセレクション展
5月3日	静岡新聞		ロボットまつり
5月20日	静岡新聞びぶれ	施設インフォ	STAR FLIGHT(タヒチ)
5月19日	読売新聞		館全体
5月14日	SBSラジオ		ボランティア募集
5月20日	静岡新聞		夜の科学館
5月27日	浜松ケーブルテレビ		ブックセレクション展
5月28日	静岡新聞		オランダの涙
6月3日	中日新聞		ブックセレクション展
7月8日	ハマラボ		本田宗一郎
6月6日	静岡新聞		超拡大ラボ写真コンテスト
6月24日	静岡新聞びぶれ		生解説プラネ「七夕伝説」
6月12日	FM Haro	はままつ案内所	超拡大ラボ写真コンテスト
6月12日	NHK	ウィークエンド中部	過冷却
6月17日	K-mix	うごラジ	プラネタリウム(月まで・七夕)
6月18日	静岡新聞		夜の科学館
6月20日	静岡新聞		超拡大ラボ写真コンテスト表彰式
7月1日	浜松ケーブルテレビ		プラネタリウム(七夕)
7月22日	静岡新聞びぶれ	施設インフォ	生解説プラネ「流れ星ってなに？」
7月22日	静岡新聞びぶれ		夏の企画展「身近で気になる昆虫展」
7月11日	静岡新聞	YOMOっと静岡	スタッフ図鑑(杉本さん)
7月10日	FM Haro	はままつ案内所	生解説プラネ「流れ星ってなに？」
7月13日	静岡新聞	県内版	注染・ゆかたコレクション(告知)
7月18日	静岡新聞	西部版	注染・ゆかたコレクション
7月18日	こども科学新聞		イベント情報(昆虫展ほか)
7月27日	浜松ケーブルテレビ		夏の企画展「身近で気になる昆虫展」
7月23日	SBSラジオ		夏の企画展「身近で気になる昆虫展」
7月21日	静岡新聞		夏の企画展「身近で気になる昆虫展」
8月5日	静岡新聞		浜松マーケットvol3
	静岡新聞アットエス		県内お出かけ情報
8月14日	FM Haro	はままつ案内所	夏の企画展「身近で気になる昆虫展」
8月8日	静岡新聞	YOMOっと静岡	夏の企画展「身近で気になる昆虫展」
8月8日	静岡新聞		化石探し体験!
8月15日	こども科学新聞		イベント情報(昆虫展ほか)
8月24日	浜松ケーブルテレビ		夜の科学館
8月23日	SBSテレビ	県内ニュース	緊急事態宣言発出後の対応状況
8月26日	静岡新聞びぶれ	施設インフォ	大型映像「オーロラの調べ」
9月1日	浜松ケーブルテレビ		ミニワーク「レジンで作るダンゴムシ標本」
9月11日	FM Haro	はままつ案内所	プラネタリウム現行機終了、機器更新
9月12日	静岡新聞	YOMOっと静岡	スタッフ図鑑(白木さん)
	読売新聞		プラネタリウム現行機終了、機器更新
9月16日	静岡新聞びぶれ	施設インフォ	STAR FLIGHT 周遊編
9月23日	中日新聞	おはよう	小粥さん人物紹介
9月24日	静岡新聞		発明くふうコンテスト審査会

掲載(放送)	メディア名	詳細	取材内容
9月25日	中日新聞		発明くふうコンテスト審査会
10月2日	NHK	ウィークエンド中部	浮沈子
10月9日	FM Haro	はままつ案内所	夜の科学館 大人のための月観望会
10月16日	静岡新聞		ノーベル物理学賞特別解説
10月26日	静岡新聞びぶれ	施設インフォ	夜の科学館 大人のための月観望会
11月12日	SBSテレビ	ORANGE	「ものしりっす」静電気について
11月13日	FM Haro	はままつ案内所	トークオブワンダー「となりのトトロで生き物観察」
11月14日	静岡新聞	YOMOっと静岡	スタッフ図鑑(青野さん)
11月22日	ハマラボ		ノーベル物理学賞の解説と夕日のしくみ
11月25日	静岡新聞びぶれ	施設インフォ	夜の科学館 大人のための月観望会
11月20日	NHK	ウィークエンド中部	入浴剤を作ってみよう
	Coco、程詩然、日本当地遊		館全体
12月24日	ヤマハ発動機		パワーアシストつなひき、船外機
12月11日	FM Haro	はままつ案内所	冬の企画展「プラネタリウムをより一層楽しむための企画展」
12月24日	SBSラジオ		冬の企画展「プラネタリウムをより一層楽しむための企画展」
12月26日	静岡新聞びぶれ	施設インフォ	冬の企画展「プラネタリウムをより一層楽しむための企画展」
12月24日	静岡新聞		冬の企画展「プラネタリウムをより一層楽しむための企画展」
12月24日	中日新聞		冬の企画展「プラネタリウムをより一層楽しむための企画展」
12月25日	読売新聞		冬の企画展「プラネタリウムをより一層楽しむための企画展」
12月25日	NHK	ウィークエンド中部	おうちで挑戦!「不思議なスティック」
1月4日	静岡新聞		昔あそび広場
1月25日	東京MX	声技の英雄	常設展音ゾーン、声の実験ほか
1月8日	FM Haro	はままつ案内所	昔あそび広場、新春!けん玉ショー
1月20日	静岡新聞びぶれ	施設インフォ	夜の科学館
1月16日	静岡新聞	YOMOっと静岡	スタッフ図鑑(横田さん)
1月12日	静岡新聞		さがしてためしてみらいーら
1月20日	静岡新聞		何度も使えるカイロを作ろう
1月31日	静岡第一テレビ	everyしずおか	まん延防止等重点措置適用後の館内の様子
1月31日	静岡新聞		15分で自然観察:ひつつき虫がひつつくワケ
2月12日	FM Haro	はままつ案内所	さがしてためしてみらいーら、火起こし
2月17日	静岡新聞びぶれ	施設インフォ	火起こしに挑戦!
2月24日	静岡新聞		火起こしに挑戦!
2月24日	中日新聞		火起こしに挑戦!
3月1日	FM Haro	LifeWith...	プラネタリウムリニューアル
2月26日	中日新聞		プラネタリウムリニューアル
3月16日	静岡第一テレビ	everyしずおか	プラネタリウムリニューアル式典、星がキラめく街
3月2日	中日新聞		プラネタリウムリニューアル式典
3月1日	静岡新聞		プラネタリウムリニューアル式典
3月11日	読売新聞		プラネタリウムリニューアル式典
	スポーツ報知	第一テレビアナウンサーコラム	プラネタリウムリニューアル
3月1日	BUNBUN		プラネタリウムリニューアル
3月8日	K-mix	うごラジ	プラネタリウムリニューアル
3月17日	静岡新聞びぶれ	施設インフォ	春の企画展「わたしにとっての文具展」
3月17日	静岡新聞びぶれ	特集	プラネタリウムリニューアル
3月13日	静岡新聞	YOMOっと静岡	スタッフ図鑑(雨森さん)
3月12日	FM Haro	はままつ案内所	プラネタリウムリニューアル
3月22日	テレビ静岡	ただいま!テレビ	サイエンスショー、実験
3月2日	東横イン	たのやく	プラネタリウムリニューアル
3月2日	浜松経済新聞		プラネタリウムリニューアル
3月1日	浜松百撰	3月号	プラネタリウムリニューアル、カフェオープン
3月5日	広報はままつ	表紙、魅力発見伝	プラネタリウムリニューアル
3月23日	浜松・浜湖ツーリズムビューロ	ジェンヌチャンネル	館内全体(常設展、プラネタリウム、カフェ)
3月8日	K-mix	鈴木愛美の、やるやん!	館内全体
3月16日	浜松ケーブルテレビ	ウィンディさんちよく	プラネタリウムリニューアル
3月26日	えんまる	4・5月号	プラネタリウムリニューアル
3月29日	静岡新聞		春の企画展「わたしにとっての文具展」
3月5日	静岡新聞		みらいーらカフェオープン

IX 指定管理者による自己評価

指定管理者が実施している毎月のセルフモニタリング（自己点検）は、浜松科学館中期計画（2019年度～2021年度）における使命（ミッション）と事業目標に基づいて、成果の検証と運営の改善を図るマネジメントサイクル（PDCA）の構築に取り組む活動です。

【事業目標1】 コミュニケーションを重視した学びの場を構築

昨年度に引き続き、COVID-19対策による利用者数制限やディスタンスの確保などの制約がありましたが、利用者がスタッフとの交流や利用者同士のコミュニケーションを通して、さまざまな気づきや発見が得られる学びの場を提供することに努めました。そのため、従来のプログラムの改良や新規の取り組みを行って、1回の時間を短縮して実施回数を増やしたり、参加者を少人数に絞ったりする工夫をしました。サイエンスショーは、約1,500回・3万9千人（2020年度約1,300回・2万7千人）で常設展入場者の33%が参加していますが、回数や参加者数を増やすだけでなく、参加者との一体感やライブ感を高めて短時間のうちに凝縮した内容としています。ミニワークショップは約1万8千人（保護者含む）で入場者の13%（2020年度約1万人・12%）で、うち3千人は新たに注力している企画展会場内のミニワークでした。企画展の展示と結びついた観察・工作でより体験の幅が広がり、ボランティア活動の主な場とすることで利用者とともに世代間交流が行える有意義な内容となっています。体験型プログラムへの参加比率が高まった結果、展示やワークショップの利用者満足度と再来館意欲が高い水準になっていることが表すように、体験を核にした科学館の魅力が認知されるようになっていきます。その結果、プラネタリウム休止期間（5か月間）を含む下半期の常設展総入場者数は4万9452人で、目標4万5千人を10%ほど上回ることができました。

密集、密閉を避けつつ科学館として質の高いイベントを実施するため、従来の春・夏の特別展をすべてスタッフが企画・制作する企画展とし、ゴールデンウィーク、夏休み、冬休み、春休み期間に分散させて実施しました。これにより一極集中的な集客から、多極分散的に利用者の底上げを図る集客戦略に転換し、スタッフが丁寧に利用者対応を図ることで感染予防対策とコミュニケーション重視の学びを両立させる取り組みを行っています。

プラネタリウム・大型映像事業は、設備機器の更新が決定したため、年度後半から工事のために休止をしました。2022年3月1日にリニューアルオープン記念式典を行い、最新のシステムによる投映が始まった結果、観覧率は59%（前年度48%）まで上昇しました。当科学館の生解説主体の投映スタイルが定着する一方、地域資源に題材をとったオリジナルコンテンツの制作を継続し、地域の価値創造に寄与することを目指しています。昨年度から継続した夜の科学館のプラネタリウムコンテンツ「スターフライト」は相変わらず人気が高く、4月から9月まで12回の投映で1千人以上のファンを獲得しています。

「コミュニケーションを重視した学びの場を構築」という目標に対しては、参加者数などの定量的な指標を目安としつつ、プログラムの時間短縮や人数制限、ハンズオン展示の利用制限などの対応をとりながら、利用者の体験価値の質を向上させるということに軸足を移しています。量的に体験機会を増やすだけでなく、利用者起点の「学びの楽しさ」や「交流の喜び」を実感できるよう、プログラムの検証と改善を日々実践しています。

全体としてはカスタマーエクスペリエンスの向上を目指して、受付や電話応対等のバックヤード業務での丁寧な対応とコミュニケーションの機会を増やすことで、利用者との良好なリレーションを基にしたブランディング戦略を実施しています。

【事業目標2】 市民の科学館への愛着を醸成

科学館のスタッフが事業を内製し、独自のコンテンツ作成にこだわることが、他の施設と差別化された雰囲気や魅力となっています。「浜松科学館ならではの」事業を構築することで、施設が市民の文化・教育体験の思い出となり、地域への愛着を生み出すきっかけとなることを目指します。

感染症対策のために学校、幼稚園・保育園等の団体利用が困難となる時期もありましたが、県内移動に限定された中で県内の学校の修学旅行利用や、中学生の職場体験活動、大学の博物館実習、長期企業内留学生の受け入れなど、あらゆる機会での教育機関との連携を模索しました。

科学館のボランティア活動も3年目に入り、継続して参加するジュニアボランティアも増えて、自主的にミニワークの補助や自然観察園の手入れ・観察などに取り組み、専門スタッフとの交流も一層深まっています。異世代のボランティアや利用者とも積極的にかかわりを持つことで、社会との接点や貢献の意識が定着してきました。ボランティアへのアンケート調査からは、「地域の人々とのつながりができた（感じられた）」という回答が84%ありましたが、「地域・社会に対する貢献ができた」(90%)、「価値観を共有できる仲間ができた」(76%)といった実感から地域と科学館に対する良好な関係構築に寄与できていることが窺えます。

みらいーらスポーツ DAY や地元企業と連携して「やらまいかテクノロジーコーナー」に設置したワゴン展示をベースに、社員が見学に訪れたり科学館でワークショップを開催したりすることを通して、連携先からは企業の独自性・創造性を広く市民に知ってもらふ絶好の機会となり、新たな価値創造に結びついたという感想が多く寄せられています。

また、ミュージアムショップでの地域の特産物販売やローカル企業とのコラボも前年度から継続しており、地域での科学館の存在意義の向上に努めています。

【事業目標3】 安心安全な環境づくり・賑わい創出

COVID-19 対策として、新たに飲食スペースにパーテーションを設置し、消毒・清掃作業の徹底や、全館の換気量のモニタリングに基づく適正な換気の実施に重点的に取り組むことで、感染予防対策に努めました。また、共同事業体各社の指針に基づき、スタッフの感染予防対策や健康管理にも十分留意し、利用者が安心して過ごせる空間を提供し続けられるよう図りました。休館日には、火災を想定した年間2回の避難誘導訓練と消火器使用訓練を実施したほか、浜松市危機管理課の指導による地震想定講習・起震車体験を行い、協力会社を含む従事者の防災意識を高めています。

カフェを起点とした賑わいづくりに関しては、コロナ禍による飲食業の規制の影響により、9月末で事業者が撤退した後、新規事業者の導入が困難であったため、職員による自主運営を経て市内の店舗に短期的な営業を行っていただきました。人気店の導入ができたことでカフェ目当ての集客もあり、科学館の付加価値を向上させる方向が切り拓かれました。

科学館の敷地は、駅南地区の貴重な緑地として多くの市民に親しんでいただく環境を維持するために、定期的な敷地周辺の清掃、サイエンスパークや自然観察園の樹木・植栽の剪定・除草等によって実効性の高い管理を行っています。前年度に続き、夜間・休館日の集会、飲酒、自転車の盗難などに対して、浜松中央警察署の協力で巡回を強化するなど、サイエンスパーク及び自然観察園の適正な維持管理に一層努めています。

【事業目標4】 経営資源の価値向上と持続性保持

今年度はプラネタリウム機器更新事業という大きな節目の年で、施設価値が大きく向上することになりました。広報面を強化して事業の成果を見える化することに努めたことで、公式 Web サイトのユーザー数が17万6千人（前年度12万9千人比36%増）に上り、来館時に参考としたメディア等のトップになった（昨年度は2位）ことにも表れています。

科学館運営で最も重視するスタッフマネジメントには特に留意しており、研修・自己研鑽の支援や、目標管理（MBO）を通じた適正な人事評価制度の運用を行い、異動や昇格、新規採用等による組織体制の強化を図っています。スタッフ全員が参加したワークショップで、成果に基づく使命と目標の検証・見直しを図り、次期3か年（2022

年～2024年)の中期計画作成に取り組んでいます。また、科学館の管理運営状況に関して、浜松科学館運営委員会で評価・助言をいただき、活動全般に係わる外部の視点から検証がなされています。

令和3年度浜松科学館事業報告書

令和4年5月

浜松科学館指定管理者

乃村工藝社・SBSプロモーション共同事業体

〒430-0923 浜松市中区北寺島町 256 番地の3

Tel.053-454-0178 Fax.053-454-0184

info@mirai-ra.jp